Canon

Satera

Macintosh用 CAPTプリンタドライバ
オンラインマニュアル

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本書の構成について

●ご確認ください

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

目次

第３章　基本的な印刷機能

第４章　便利な印刷機能

第5章　印刷品質の設定

第6章　困ったときには

第７章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：[OK]
[設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、ColorSync、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

IBM、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご使用の前に

オンラインマニュアルの使いかたなどについて説明しています。

オンラインマニュアルの使いかた

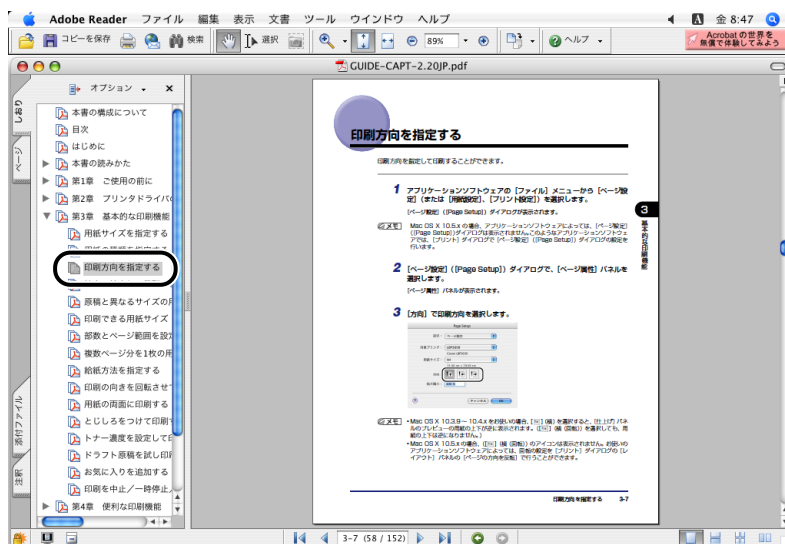
本オンラインマニュアルでは、Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについて説明しています。本オンラインマニュアルをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

使用している Mac OS のバージョンにより、ダイアログの表示が若干異なる場合があります。

本オンラインマニュアル中の画面は、実際の画面と異なる場合があります。

PDF 形式のオンラインマニュアルは、次の方法でご利用いただけます。

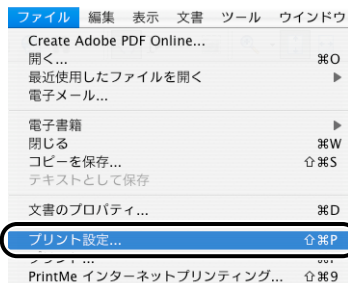
画面上で参照する場合

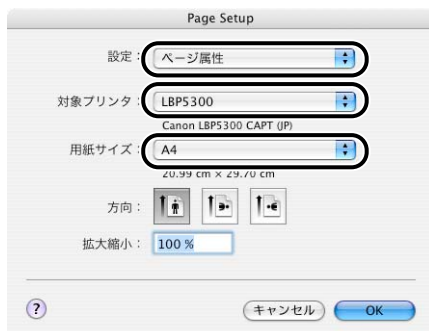
1 ［しおり］メニューから参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が表示されます。

2 オンラインマニュアルを終了するときは、［ファイル］メニューから［閉じる］を選択します。

印刷してから参照する場合

1 オンラインマニュアルを表示します。

2 [ファイル] メニューから [プリント設定] (または [用紙設定]) を選択します。

3 [ページ設定] ([Page Setup]) ダイアログで、次の項目を設定します。

[設定]：ページ属性
[対象プリンタ]：(印刷するプリンタ)
[用紙サイズ]：A4

メモ
- A4 サイズ以外の用紙に印刷すると、文字やイラストが欠けて印刷されることがあります。
- Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、[ページ設定] ([Page Setup]) ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、[プリント] ダイアログで [ページ設定] ([Page Setup]) ダイアログの設定を行います。

4 [ページ設定]（[Page Setup]）ダイアログの [OK] をクリックします。

5 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

[プリント] ダイアログが表示されます。

6 [プリント] をクリックします。

[プリンタ] で印刷するプリンタが選択されているか確認してください。

7 オンラインマニュアルを終了するときは、[ファイル] メニューから [閉じる] を選択します。

プリンタドライバのインストールと印刷方法

2
CHAPTER

CAPT プリンタドライバのインストール方法やCAPTプリンタドライバを使用した印刷方法などについて説明しています。

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

USB ケーブルで接続する場合	LAN ケーブルで接続する場合
USB ケーブルの接続 (→ユーザーズガイド 第 2 章「プリンタの設置」)*1	ネットワークボードの取り付け (LBP5100、LBP3310 のみ) (→ユーザーズガイド 第 8 章「オプション品の取り付け」)
プリンタドライバのインストール (→P.2-4)	LAN ケーブルの接続 (→ユーザーズガイド 第 2 章「プリンタの設置」)*2
プリンタリストにプリンタを登録 (→P.2-13)	プリンタドライバのインストール (→P.2-4)
	プリンタの IP アドレスの設定 プリンタのプロトコルの設定 (→P.2-8)
	プリンタリストにプリンタを登録 (→P.2-13)

*1 LBP5050、LBP5050N、LBP3100 の場合、ユーザーズガイドの「プリンタの設置と接続」を参照してください。

*2 LBP5050N の場合、ユーザーズガイドの「プリンタの設置と接続」を参照してください。

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ コンピュータ

- Power PC プロセッサまたは Intel プロセッサ搭載の Macintosh

■ OS ソフトウェア環境

- Mac OS X 10.3.9/10.4/10.4.1/10.4.2/10.4.3/10.4.4/10.4.5/10.4.6/10.4.7/10.4.8/10.4.9/10.4.10/10.4.11/10.5/10.5.1/10.5.2/10.5.3

メモ
- 最新のプリンタドライバは、キヤノンホームページより入手することができます。
- Mac OS X の Classic 環境には対応していません。
- 日本語版以外の Mac OS には対応していません。

■ インタフェース環境

- USB 接続時（Macintosh に標準で搭載されている USB ポート）
  - ・Hi-Speed USB/USB
- ネットワーク接続時
  - ・コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
  - ・プロトコル：TCP/IP（AppleTalk は使用できません）

メモ
本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信の USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

■ ハードディスク／メモリ

- 上記 OS が十分に動作する容量

プリンタドライバをインストールする

本プリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

重要 インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属のCD-ROMの以下のフォルダに収録されているREADMEファイルを参照してください。（プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合も、同様のフォルダに収録されています。）
・[CAPT] → [Japanese] → [Documents] → [README-CAPT-JP.rtf]

1 コンピュータの電源を入れます。

2 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

3 付属のCD-ROM「LBPXXXX User Software」をCD-ROMドライブにセットします（XXXXは機種名）。

プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルを展開します。

4 CD-ROMまたはダウンロードしたファイル内の[CAPT]→[Japanese]→[MacOSX]を開きます。

5 [CAPT Installer]アイコンをダブルクリックします。

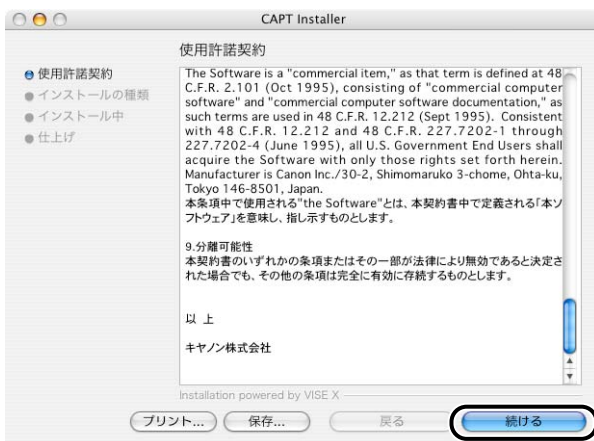
[認証]ダイアログが表示されます。

メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 7 へ進んでください。

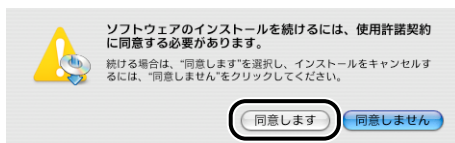
6 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

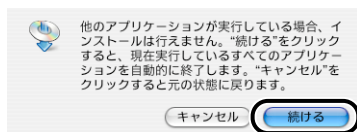
［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。

メモ　ここで入力する［名前］と［パスワード］は Mac OS で設定したものです。

7 内容を確認し、［続ける］をクリックします。

メモ
- ［プリント］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- ［保存］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書をテキスト形式で保存します。

8 メッセージが表示されますので、［同意します］をクリックします。

2
プリンタドライバのインストールと印刷方法

9 プルダウンメニューから［簡易インストール］を選択して、［インストール］をクリックします。

10 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ

- ［キャンセル］をクリックするとインストールを中止します。
- ユーティリティソフトウェアの「ステータスモニタ」も、同時にインストールされます。

11 インストール完了のメッセージが表示されますので、［終了］をクリックします。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、以下の作業を行ってください。

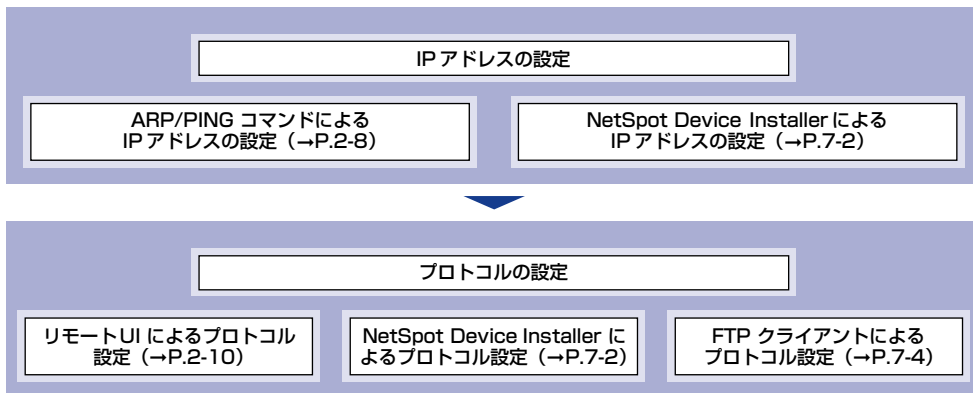
・USB 接続の場合：

「プリンタをプリンタリストに登録する」（➞P.2-13）でプリンタを登録します。

・ネットワーク接続の場合：

「ネットワークの設定をする」（➞P.2-8）で IP アドレスやプロトコルの設定を行います。ただし、IP アドレスやプロトコルが既に設定されている場合は、「プリンタをプリンタリストに登録する」（➞P.2-13）でプリンタを登録します。

ネットワークの設定をする

プリンタの IP アドレスやプロトコルの設定は、次の図に示すユーティリティソフトウェアを使用して行うことができます。

プリンタの IP アドレスを設定する

ここでは、ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定方法を説明します。他のユーティリティソフトウェアを使用しての IP アドレスの設定方法については、以下を参照してください。

• NetSpot Device Installer による IP アドレスの設定方法 →NetSpot Device Installer について：P.7-2

ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定

メモ　ここでは、Mac OS X の「ターミナル」を使用した IP アドレスの設定方法を説明します。

1 ターミナルを起動します。

お使いのハードディスク → ［アプリケーション］ → ［ユーティリティ］ フォルダにある［ターミナル］ アイコンをダブルクリックします。

2 root でログインするため、以下のコマンドを入力して、キーボードの［return］キーを押します。

su

「Password:」と表示されますので、root のパスワードを入力して、キーボードの［return］キーを押します。

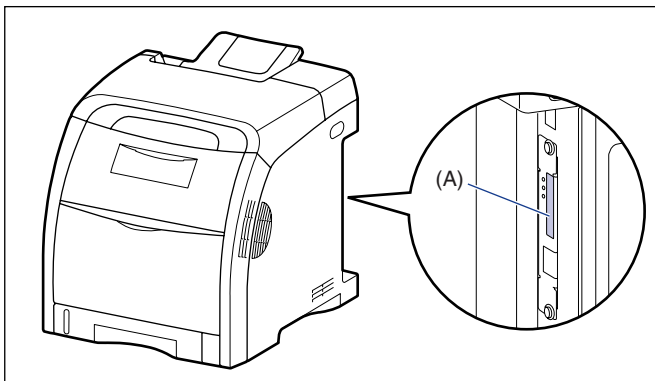
3 以下のコマンドを入力して、キーボードの［return］キーを押します。

arp -s < IP アドレス> < MAC アドレス>

IP アドレス：　プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた４つの数字（0 ～ 255 の数字）で指定します。

MAC アドレス：プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「:」（コロン）で区切って入力します。

入力例：　arp　-s　192.168.0.215　00:00:85:05:70:31

メモ　MAC アドレスは、（A）の部分に記載されています。

＊　プリンタは LBP5300 を例にしています。

4 以下のコマンドを入力して、キーボードの［return］キーを押します。

ping -c 1 -s 479 < IP アドレス>

IP アドレス：　手順 3 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。

入力例：　ping　-c　1　-s　479　192.168.0.215

プリンタに IP アドレスが設定されます。

5 以下のコマンドを入力して、キーボードの［return］キーを押します。

exit

6 ［ターミナル］メニューから［ターミナルを終了］を選択します。

プリンタのプロトコルを設定する

ここでは、リモート UI によるプロトコルの設定方法を説明します。他のユーティリティソフトウェアを使用してのプロトコルの設定方法については、以下を参照してください。

- NetSpot Device Installer によるプロトコルの設定方法 ➞NetSpot Device Installer について：P.7-2
- FTP クライアントによるプロトコルの設定方法 ➞FTP クライアントによるプリンタの設定／管理：P.7-4

リモート UI によるプロトコル設定

メモ　ここでは、プリンタは LBP5300 を使用している画面例で手順を説明します。

1　Web ブラウザを起動して、アドレス入力欄に以下の URL を入力したあと、キーボードの［return］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

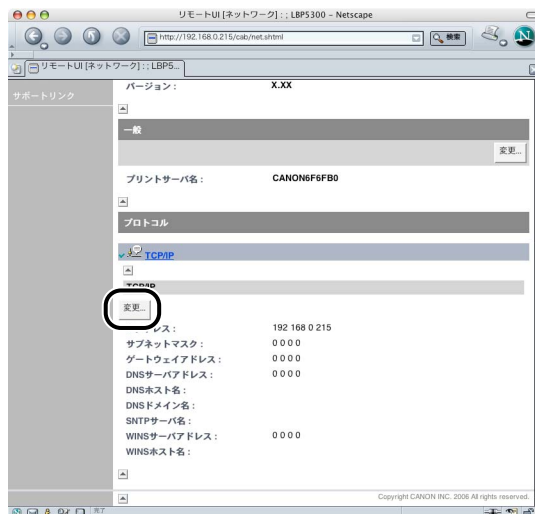
重要
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降、または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・コンピュータのプロキシの設定で、［プロキシを使用しないホストとドメイン］にプリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ　お使いの環境によっては、リモート UI の画面が表示されないときがあります。このようなときは、アドレス入力欄に「http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /cab/top.shtml」を入力して、ページを表示しなおしてください。

2 ［ログイン］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［ログイン］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 ［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］をクリックします。

4 ［TCP/IP］にある［変更］をクリックします。

5 以降の手順は、プリンタに付属のネットワークガイド * の「第２章　ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」の「プリンタのプロトコル設定」を参照してプロトコルの設定を行ってください。

* LBP5050N の場合、ユーザーズガイドの「パソコンからの管理／設定」-「リモート UI での管理／設定」-「ネットワーク設定を確認する」を参照してください。

プリンタをプリンタリストに登録する

プリンタドライバを使用するためには、プリンタを［プリンタリスト］に登録する必要があります。

［プリンタリスト］に登録するには、プリンタとコンピュータが接続されていて、プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

USB 接続の場合

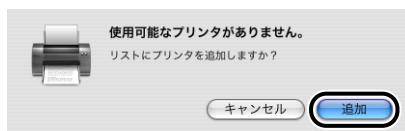
Mac OS X 10.3.9 の場合

1 お使いのハードディスク →［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログは、［システム環境設定］の［プリントとファクス］アイコンをクリックし、［プリンタを設定］をクリックしても表示することができます。

2 ［追加］をクリックします。

メモ　［プリンタリスト］にプリンタが一台も登録されていない場合は、次のダイアログが表示されますので、［追加］をクリックします。

3 ［Canon USB (CUPS CAPT)］を選択します。

4 プリンタリストの一覧から使用するプリンタを選択し、［追加］をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

メモ プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 10.4.x の場合

1 お使いのハードディスク　→［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

2 ［追加］をクリックします。

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリンタリスト］にプリンタが一台も登録されていない場合は、次のダイアログが表示されますので、［追加］をクリックします。

2

プリンタドライバのインストールと印刷方法

3 ［ほかのプリンタ］をクリックします。

重要

必ず［ほかのプリンタ］をクリックしてプリンタを登録してください。［デフォルトブラウザ］のリストに表示されているプリンタを登録したり、［IP プリンタ］でプリンタを登録すると、正しく印刷できません。

4 ［Canon USB (CUPS CAPT)］を選択します。

5 プリンタリストの一覧から使用するプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

6 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 10.5.x の場合

1 ［システム環境設定］にある［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

2 [+] をクリックします。

3 [ほかのプリンタ] をクリックします。

重要　必ず［ほかのプリンタ］をクリックしてプリンタを登録してください。［デフォルト］のリストに表示されているプリンタを登録したり、［IP］でプリンタを登録すると、正しく印刷できません。

4 ［Canon USB（CUPS CAPT)］を選択します。

5 プリンタリストの一覧から使用するプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

メモ

プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

6 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

IP 接続の場合

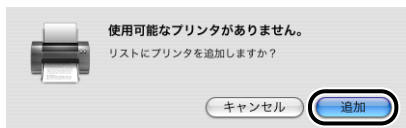
Mac OS X 10.3.9 の場合

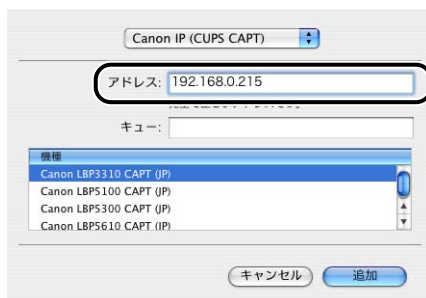
1 お使いのハードディスク → [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダにある [プリンタ設定ユーティリティ] アイコンをダブルクリックします。

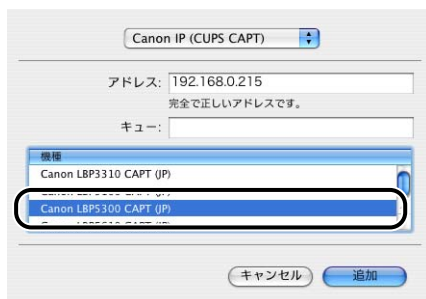
[プリンタリスト] ダイアログが表示されます。

メモ　[プリンタリスト] ダイアログは、[システム環境設定] の [プリントとファクス] アイコンをクリックし、[プリンタを設定] をクリックしても表示することができます。

2 [追加] をクリックします。

メモ　[プリンタリスト] にプリンタが一台も登録されていない場合は、次のダイアログが表示されますので、[追加] をクリックします。

3 [Canon IP (CUPS CAPT)] を選択します。

4 ［アドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー］は空白のままにしてください。

5 ［機種］から使用するプリンタを選択します。

6 ［追加］をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

7 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

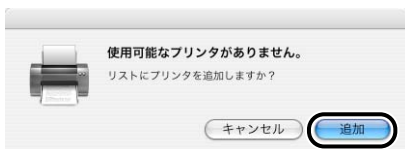
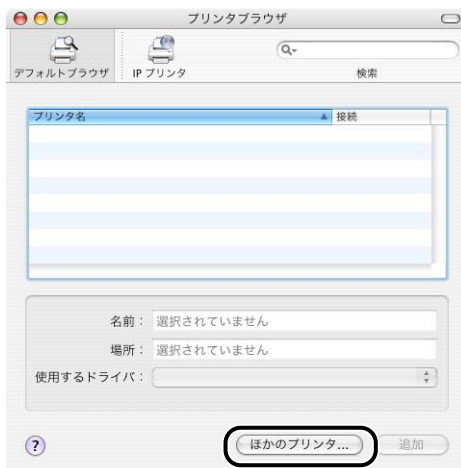
Mac OS X 10.4.x の場合

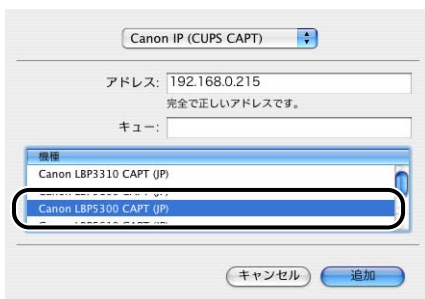
1 **お使いのハードディスク　→［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

2 **［追加］をクリックします。**

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリンタリスト］にプリンタが一台も登録されていない場合は、次のダイアログが表示されますので、［追加］をクリックします。

3 [ほかのプリンタ] をクリックします。

重要 必ず [ほかのプリンタ] をクリックしてプリンタを登録してください。[デフォルトブラウザ] のリストに表示されているプリンタを登録したり、[IP プリンタ] でプリンタを登録すると、正しく印刷できません。

4 [Canon IP (CUPS CAPT)] を選択します。

5 ［アドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー］は空白のままにしてください。

6 ［機種］から使用するプリンタを選択します。

7 ［追加］をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

8 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

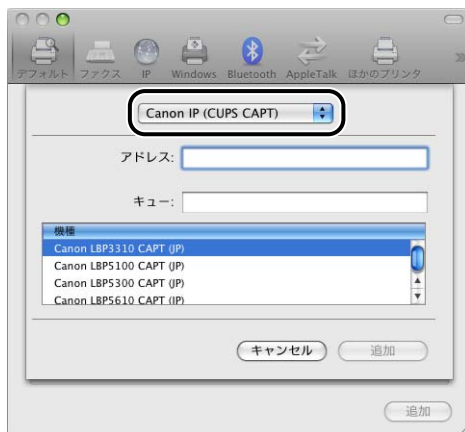
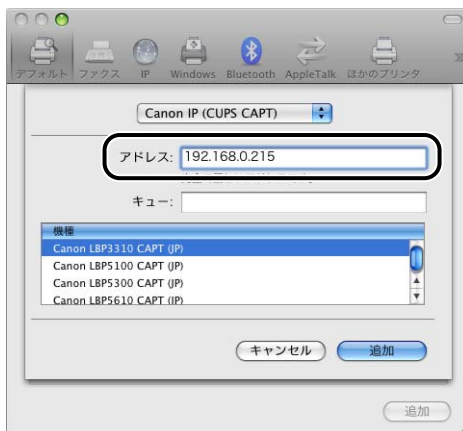
Mac OS X 10.5.x の場合

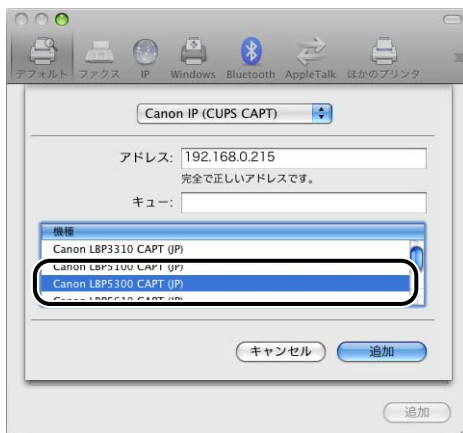
1 ［システム環境設定］にある［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

2 ［+］をクリックします。

3 ［ほかのプリンタ］をクリックします。

重要　必ず［ほかのプリンタ］をクリックしてプリンタを登録してください。［デフォルト］のリストに表示されているプリンタを登録したり、［IP］でプリンタを登録すると、正しく印刷できません。

4 ［Canon IP (CUPS CAPT)］を選択します。

5 ［アドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー］は空白のままにしてください。

6 ［機種］から使用するプリンタを選択します。

7 ［追加］をクリックします。

［プリントとファクス］ダイアログに戻ります。

8 使用するプリンタが表示されていることを確認し、［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

印刷前のプリンタ情報設定

印刷前に、プリンタに装着しているオプション品の設定を行います。

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x の場合

1 **［プリンタリスト］ダイアログを表示します。**

［プリンタリスト］ダイアログを表示するには、お使いのハードディスク ➞［アプリケーション］➞［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

2 **［プリンタリスト］から、お使いのプリンタを選択し、［情報を見る］をクリックします。**

［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。

3 ［インストール可能なオプション］を選択します。

4 ［給紙オプション］からプリンタに装着したオプションを選択します。

5 ［変更を適用］をクリックします。

6 ［プリンタ情報］ダイアログを閉じます。

Mac OS X 10.5.x の場合

1 ［システム環境設定］にある［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

2

プリンタドライバのインストールと印刷方法

2 ［プリンタ］から、お使いのプリンタを選択し、［オプションとサプライ］をクリックします。

3 ［ドライバ］をクリックします。

4 ［給紙オプション］からプリンタに装着したオプションを選択します。

5 ［OK］をクリックします。

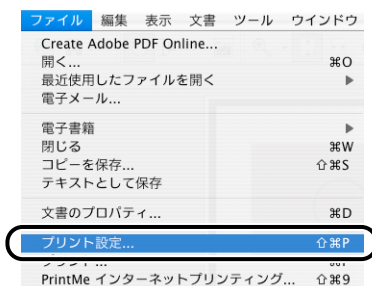
6 ［プリントとファクス］ダイアログを閉じます。

アプリケーションソフトウェアから印刷する

ここでは、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader を例に、アプリケーションソフトウェアから原稿を印刷する手順を説明します。

なお、印刷手順はアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

1 **Adobe Reader を起動して、印刷する原稿を表示します。**

2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［ページ設定］、［プリント設定］）を選択します。**

［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログが表示されます。

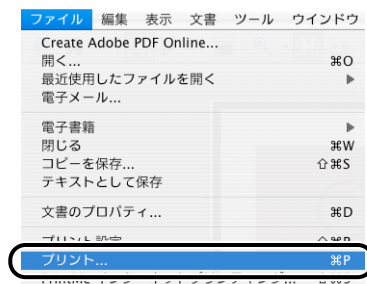
メモ

Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

3 **［設定］で［ページ属性］が選択されていることを確認して、［対象プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。**

4 用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小率を設定します。

5 [ページ設定]（[Page Setup]）ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって、表示が若干異なります。

7 ［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

お使いのプリンタが表示されない場合は、以下の手順でプリンタを追加してください。

・Mac OS X 10.3.9 をお使いの場合：［プリンタ］から［プリンタリストを編集］を選択して、［プリンタ設定ユーティリティ］のプリンタリストでご使用のプリンタを追加してください。

・Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x をお使いの場合：［プリンタ］から［プリンタを追加］を選択して、ご使用のプリンタを追加してください。

プリンタドライバヘルプを表示する

プリンタドライバの設定項目の詳細については、プリンタドライバヘルプを参照してください。プリンタドライバヘルプは、以下のように表示できます。

1 ダイアログ内の［?］をクリックします。

2 各ダイアログのヘルプが表示されます。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

1 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

3 付属の CD-ROM「LBPXXXX User Software」を CD-ROM ドライブにセットします（XXXX は機種名）。

プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルを展開します。

4 CD-ROMまたはダウンロードしたファイル内の[CAPT]→[Japanese]→［MacOSX］を開きます。

5 [CAPT Installer］アイコンをダブルクリックします。

［認証］ダイアログが表示されます。

メモ

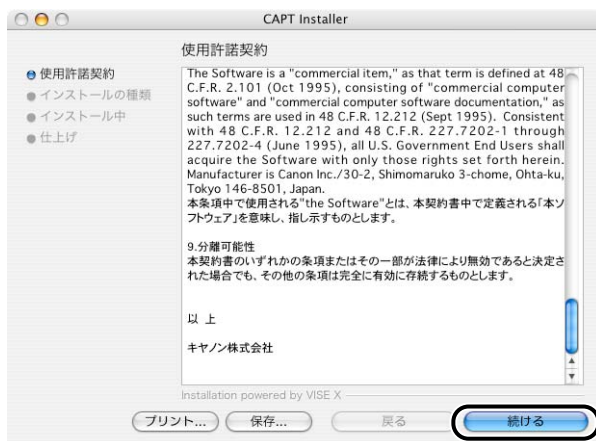
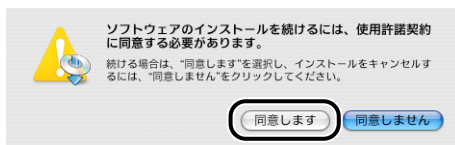
お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 7 へ進んでください。

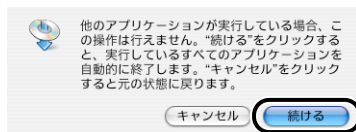
2

プリンタドライバのインストールと印刷方法

6 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

[CAPT Installer] ダイアログが表示されます。

7 内容を確認し、[続ける] をクリックします。

8 メッセージが表示されますので、[同意します] をクリックします。

9 プルダウンメニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

10 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

11 アンインストール完了のメッセージが表示されますので、［終了］をクリックします。

メモ

アンインストールしても、コンピュータに本プリンタが登録されています。以下の手順で登録されているプリンタを削除してください。

・Mac OS X 10.3.9～10.4.x をお使いの場合：

① お使いのハードディスク ➞［アプリケーション］➞［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

② 本プリンタを選択して［削除］をクリックします。

・Mac OS X 10.5.x をお使いの場合：

① ［システム環境設定］の［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

② 本プリンタを選択して、[-] をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

基本的な印刷機能

3
CHAPTER

CAPT プリンタドライバの基本的な印刷機能について説明しています。

用紙サイズを指定する

印刷する用紙のサイズを指定します。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］、［プリント設定］）を選択します。

［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログが表示されます。

メモ
Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

2 ［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 ［用紙サイズ］で、印刷する用紙のサイズを指定します。

お使いの機種によって、使用可能な用紙サイズは異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（→P.3-11）を参照してください。また、ユーザ定義用紙や長尺紙（LBP5610のみ）をお使いになる場合は、「ユーザ定義用紙や長尺紙（LBP5610のみ）を設定する」（→P.4-45）を参照してください。

メモ
用紙サイズの右に（印字領域 大）と表示されている用紙を選択すると、印字領域を広げて印刷することができます。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。

4 ［OK］をクリックします。

メモ　Mac OS X 10.4.x 〜 10.5.x をお使いの場合で、原稿のサイズと異なる用紙サイズに印刷する場合は、［プリント］ダイアログの［用紙処理］パネルの［出力用紙サイズ］で出力する用紙サイズを設定します。詳しくは、「原稿と異なるサイズの用紙に印刷する（Mac OS X 10.4.x 〜 10.5.x のみ）」（➞P.3-9）を参照してください。

用紙の種類を指定する

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。この項目の設定に合わせて、プリンタは良好な印刷結果が得られるように適切な内部処理を自動的に行います。

■ LBP5610

- [普通紙]：普通紙（64 ～ 105g/m^2）
- [普通紙 L]：普通紙（64g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合や幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したときに、印刷速度が遅くなる場合に設定します。
- [厚紙 1]：厚紙（106 ～ 169g/m^2）
- [厚紙 2]：厚紙（170 ～ 220g/m^2）
- [ラベル用紙]：ラベル用紙
- [コート紙]：コート紙（106 ～ 169g/m^2）
- [はがき]：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき
- [封筒]：封筒

重要

- 本プリンタは、はがき、往復はがき、４面はがきサイズの普通紙（64 ～ 105g/m^2）、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨４面はがきにも印刷することができます。普通紙（64 ～ 105g/m^2）に印刷する場合は、［普通紙］を選択し、厚紙（106 ～ 169g/m^2）やキヤノン推奨４面はがきに印刷する場合は、「厚紙 1」を選択します。
- 106 ～ 169g/m^2 以外のコート紙の場合は、次の設定を行ってください。
  - ･105g/m^2 以下の場合：［用紙種類］の設定を［普通紙］にする
  - ･70 ～ 220g/m^2 の場合：［用紙種類］の設定を［コート紙］にして、［仕上げ］パネルで［仕上げ詳細］-［処理オプション］の順にクリックし、［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

■ LBP5300

- [普通紙]：普通紙（60 ～ 105g/m^2）
- [普通紙 H]：普通紙（75 ～ 105g/m^2）を印刷するとき、光沢感を出したい場合に設定します。
- [厚紙 1]：厚紙（106 ～ 120g/m^2）
- [厚紙 2]：厚紙（121 ～ 176g/m^2）、キヤノン推奨４面はがき
- [厚紙 3]：177 ～ 220g/m^2 の厚紙（郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外）への印刷はおすすめしませんが、やむを得ず印刷しなければならない場合に設定します。
- [OHP フィルム]：OHP フィルム（モノクロ時のみ）
- [ラベル用紙]：ラベル用紙
- [コート紙]：コート紙（105 ～ 120g/m^2）
- [ラフ紙]：表面の粗い用紙（75 ～ 105g/m^2）を［普通紙］に設定して印刷した結果、紙づまりが起こったときや定着性をより改善したいときに設定します。
- [はがき]：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき

封筒の場合は、［用紙サイズ］（または［出力用紙サイズ］）で［封筒 洋形 4 号］、［封筒 洋形 2 号］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。

■ LBP5100

- ［普通紙］：普通紙（75 ～ 90g/m^2）
- ［普通紙 L］：普通紙（60 ～ 74g/m^2）
- ［厚紙 1］：厚紙（91 ～ 120g/m^2）
- ［厚紙 2］：厚紙（121 ～ 163g/m^2）
- ［ラベル用紙］：ラベル用紙
- ［OHP フィルム］：OHP フィルム（モノクロ時のみ）
- ［はがき］：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、キヤノン推奨 4 面はがき
- ［封筒］：封筒（通常、封筒に印刷する場合に設定します。）
- ［封筒 L］：［封筒］に設定して印刷した結果、封筒のふたが貼り付いてしまう場合に設定します。

■ LBP5050、LBP5050N

- ［普通紙］：普通紙（75 ～ 90g/m^2）
- ［普通紙 L］：普通紙（60 ～ 74g/m^2）
- ［厚紙 1］：厚紙（91 ～ 120g/m^2）
- ［厚紙 2］：厚紙（121 ～ 163g/m^2）
- ［OHP フィルム］：OHP フィルム（モノクロ時のみ）
- ［光沢フィルム］：光沢フィルム
- ［ラベル用紙］：ラベル用紙
- ［はがき］：郵便はがき、郵便往復はがき、キヤノン推奨 4 面はがき
- ［封筒］：封筒（通常、封筒に印刷する場合に設定します。）
- ［封筒 H］：［封筒］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［封筒 H］に設定してください。
- ［コート紙 1］：コート紙（100 ～ 110g/m^2）
- ［コート紙 2］：コート紙（120 ～ 130g/m^2）
- ［コート紙 3］：コート紙（155 ～ 165g/m^2）
- ［コート紙 4］：コート紙（220 ～ 230g/m^2）

■ LBP3310

- ［普通紙］：普通紙（60 ～ 89g/m^2）
- ［普通紙 L］：［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときに設定します。
- ［厚紙 1］：厚紙（90 ～ 120g/m^2）
- ［厚紙 2］：厚紙（121 ～ 149g/m^2）
- ［厚紙 3］：厚紙（150 ～ 163g/m^2）
- ［OHP フィルム］：OHP フィルム
- ［ラベル用紙］：ラベル用紙

メモ　はがきや封筒の場合は、[用紙サイズ]（または［出力用紙サイズ]）を設定すると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。

■ LBP3100

- [普通紙]：普通紙（64 ～ 89g/m^2）
- [普通紙 L]：普通紙（60 ～ 63g/m^2）
- [厚紙]：厚紙（90 ～ 163g/m^2）、郵便４面はがき、キヤノン推奨４面はがき
- [厚紙 H]：[厚紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してください。
- [OHP フィルム]：OHP フィルム
- [ラベル用紙]：ラベル用紙
- [はがき]：郵便はがき、郵便往復はがき
- [はがき H]：[はがき] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[はがき H] に設定してください。
- [封筒]：封筒

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

[プリント] ダイアログが表示されます。

2 **[プリント] ダイアログで、[給紙] パネルを選択します。**

[給紙] パネルが表示されます。

3 **[用紙種類] で、印刷する用紙の種類を指定します。**

4 **[プリント] をクリックします。**

印刷方向を指定する

印刷方向を指定して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］、［プリント設定］）を選択します。**

［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログが表示されます。

メモ

Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

2 **［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［方向］で印刷方向を選択します。**

メモ

- Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x をお使いの場合、［ ］（横）を選択すると、［仕上げ］パネルのプレビューの用紙の上下が逆に表示されます。（［ ］（横（回転））を選択しても、用紙の上下は逆になりません。）
- Mac OS X 10.5.x の場合、（［ ］（横（回転））のアイコンは表示されません。お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、回転の設定を［プリント］ダイアログの［レイアウト］パネルの［ページの方向を反転］で行うことができます。

4 **［OK］をクリックします。**

3

基本的な印刷機能

拡大・縮小して印刷する

原稿を拡大、または縮小して印刷することができます。

メモ　設定できる倍率はご使用のアプリケーションソフトウェアによって異なります。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］、［プリント設定］）を選択します。

［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

2 ［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 ［拡大縮小］で、原稿サイズの拡大縮小率を設定します。

4 ［OK］をクリックします。

原稿と異なるサイズの用紙に印刷する（Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x のみ）

通常、原稿はアプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.xでは、これに加えて、原稿のサイズとは異なるサイズの用紙に印刷することもできます。この場合、原稿の内容は、出力する用紙のサイズ（出力サイズ）に合わせて自動的に拡大または縮小して印刷されます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［用紙処理］パネルを選択します。**

［用紙処理］パネルが表示されます。

3 **［出力用紙サイズ］で［用紙サイズに合わせる］を選択したあと、ポップアップメニューから出力する用紙サイズを選択します。**

お使いの機種によって、使用可能な用紙サイズは異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（➞P.3-11）を参照してください。

- Mac OS X 10.4.x の場合

• Mac OS X 10.5.x の場合

メモ　原稿を拡大して印刷したくない場合は、[縮小のみ] にチェックマークを付けます。

4 [プリント] をクリックします。

印刷できる用紙サイズ

お使いのプリンタによって、使用できる用紙サイズが異なります。印刷できる用紙サイズは、以下のとおりです。

メモ
- ユーザ定義用紙は、ユーザが下記の範囲で独自に設定できる用紙サイズです。詳しくは、「ユーザ定義用紙や長尺紙（LBP5610 のみ）を設定する」（➞P.4-45）を参照してください。
- 使用できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。また、使用する用紙サイズ、用紙の種類によって、給紙方法が異なります。詳しくは、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

■ LBP5610

A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ、SRA3、12 × 18、はがき、往復はがき、４面はがき、封筒（洋形４号、洋形２号、角形 2 号）

ユーザ定義用紙（9.80 cm × 14.80 cm ～ 32.00 cm × 45.72 cm）

長尺紙（21.00 cm × 45.73 cm ～ 29.70 cm × 120.00 cm）

■ LBP5300

A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、４面はがき、封筒（洋形４号、洋形２号）

ユーザ定義用紙（7.62 cm × 12.70 cm ～ 21.59 cm × 35.56 cm）

■ LBP5100

A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、４面はがき、封筒（洋形４号、洋形２号）

ユーザ定義用紙（7.62 cm × 12.70 cm ～ 21.59 cm × 35.56 cm）

■ LBP5050、LBP5050N

A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、４面はがき、封筒（洋形４号、洋形２号）

ユーザ定義用紙（7.62 cm × 12.70 cm ～ 21.59 cm × 35.56 cm）

■ LBP3310

A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、４面はがき、封筒 (洋形４号、洋形２号)

ユーザ定義用紙 （7.62 cm × 12.70 cm ～ 21.59 cm × 35.56 cm）

■ LBP3100

A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、４面はがき、封筒（洋形４号、洋形２号）

ユーザ定義用紙（7.62 cm × 12.70 cm ～ 21.59 cm × 35.56 cm）

部数とページ範囲を設定する

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

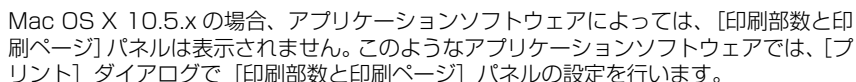
［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷部数と印刷ページ］パネルを選択します。**

［印刷部数と印刷ページ］パネルが表示されます。

メモ

Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［印刷部数と印刷ページ］パネルは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］パネルの設定を行います。

3 **［部数］と［ページ］を設定します。**

一部のページのみを印刷するときは、開始ページと終了ページを入力します。

4 2 部以上印刷する場合に部単位で排紙したいときは、[丁合い]（または [部単位で印刷]）にチェックマークを付けます。

メモ

例えば、3 ページの原稿を 2 部印刷する場合に、[丁合い]（または [部単位で印刷]）にチェックマークが付いていると、「123, 123」と部単位ごとに出力されます。チェックマークを外したときには、「11, 22, 33」とページごとに出力されます。

5 [プリント] をクリックします。

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する

複数ページの原稿を並べて、1 枚の用紙に縮小して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［レイアウト］パネルを選択します。**

［レイアウト］パネルが表示されます。

3 **［ページ数／枚］で、1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを選択します。**

選択できるページ数は、1、2、4、6、9、16 ページ数／枚のいずれかです。

4 ［レイアウト方向］で、［ページ数／枚］で設定したページのレイアウトの方向を設定します。

メモ

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x をお使いの場合、［ページ属性］パネルの［方向］で、［ ］（横）を選択すると［レイアウト］パネルのプレビューと［仕上げ］パネルのプレビューとでは、ページの表示順が変わります。（［ ］（横（回転））を選択しても、ページの表示順は変わりません。）実際のレイアウトを確認するには［仕上げ］パネルを表示してください。

5 各ページに境界線（枠線）をつける場合は、［境界線］／［枠線］で線の種類を設定します。

6 ［プリント］をクリックします。

給紙方法を指定する（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ）

特定の給紙部を指定して印刷することができます。通常は、自動的に最適な給紙部から印刷を行います。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［給紙］パネルを選択します。**

［給紙］パネルが表示されます。

3 **［給紙部］で、用紙を給紙する場所を選択します。**

重要

- LBP5610 の場合、ラベル用紙を給紙カセットから印刷するときは、［給紙部］で［カセットN］（N=1、2、3、4）を選択してください。［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。
- LBP5100 の場合、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙を給紙カセットから印刷するときは、［給紙部］で［カセット 1］または［カセット2］を選択してください。［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。
- LBP5050、LBP5050N の場合、厚紙、OHP フィルム、光沢フィルム、ラベル用紙、コート紙を給紙カセットから印刷する場合は、［給紙部］で［カセット 1］を選択してください。［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。

4 LBP5610、LBP5300、LBP3310 の場合、必要に応じて、［手差しで続けて印刷する］にチェックマークを付けます。

チェックマークを付けると、カセットの用紙がなくなった場合、手差しトレイから給紙します。チェックマークを消すと、カセットの用紙がなくなった場合、メッセージを表示して一時停止します。

メモ　［手差しで続けて印刷する］にチェックマークを付けた場合は、カセットと手差しトレイに異なるサイズの用紙がセットされている場合でも、カセットの用紙がなくなると手差しトレイから給紙する場合があります。そのため、チェックマークを付けた場合は、カセットと手差しトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。

5 LBP5610 でユーザ定義用紙を使用する場合、必要に応じて［手差しからユーザ定義用紙を横送りする］にチェックマークを付けます。

ユーザ定義用紙を横向きにセットした場合は、チェックマークを付けます。

6 ［プリント］をクリックします。

印刷の向きを回転させて印刷する

用紙の方向に対する印刷の向きを 180 度回転させて印刷します。特定の方向のみでしか給紙できないインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

メモ　用紙サイズに関係なく設定できるため、印刷イメージが切れる場合があります。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［印刷の向きを 180 度回転する］にチェックマークを付けます。

4 ［プリント］をクリックします。

用紙の両面に印刷する（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP3310のみ）

自動的に 2 ページ分の原稿を用紙の両面に印刷することができます。

重要 LBP3310 で両面印刷する場合は、用紙サイズ切り替えレバーが正しくセットされていることを、必ず確認してください。正しくセットされていないと、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になることがあります。
用紙サイズ切り替えレバーのセット方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。**

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 **［印刷方法］で、［両面印刷］を選択します。**

4 **［プリント］をクリックします。**

とじしろをつけて印刷する (LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ)

とじしろをつけて印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［仕上げ］パネルを選択します。

［仕上げ］パネルが表示されます。

3 ［とじ方向］で、とじしろをつける方向を選択し、［とじしろ］をクリックします。

4 ［とじしろ］で、とじしろの幅を設定します。

メモ

- とじしろの幅は、0 〜 30mm の範囲内で、1mm 単位で設定することができます。
- とじしろの幅を0〜5mmの範囲で設定しても、5mmに設定した場合と同様に印刷されます。

5 ［とじしろ指定］ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［プリント］をクリックします。

トナー濃度を設定して印刷する

原稿の印刷濃度を設定することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

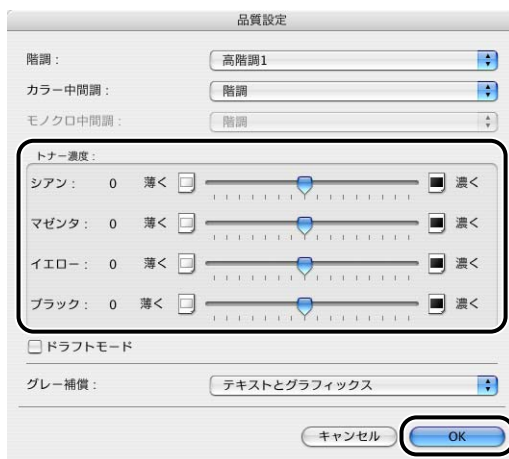
2 ［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 ［トナー濃度］のつまみを左右にドラッグして濃度設定を変更し、［OK］をクリックします。

カラープリンタをお使いの場合、トナーの色ごと（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）に設定可能です。

5 ［プリント］をクリックします。

ドラフト原稿を試し印刷する

ドラフトモードを使用すると、データを間引いて印刷します。原稿を校正するときなどにご利用いただけます。

メモ　ドラフトモードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［品質設定］をクリックします。**

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 ［ドラフトモード］にチェックマークを付けたあと、［OK］をクリックします。

5 ［プリント］をクリックします。

3
基本的な印刷機能

お気に入りを追加する

［プリント］ダイアログの各パネルで設定している項目を、「お気に入り」としてあらかじめ登録できます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログの各パネルで、登録する機能を設定します。**

3 **［プリセット］のポップアップメニューから［別名で保存］を選択します。**

［プリセットを保存］ダイアログが表示されます。

3

基本的な印刷機能

4 [保存するプリセットの名前] を入力したあと、[OK] をクリックします。

設定が保存されます。

メモ　「お気に入り」を使って印刷するときは、[プリセット] のポップアップメニューから使用したい項目を選択します。

印刷を中止／一時停止／再開する

本プリンタでは、ステータスモニタを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。

1 ステータスモニタを表示します。

ステータスモニタの表示方法は、「ステータスモニタを起動する」（➞P.4-16）を参照してください。

2 行いたい操作のボタンをクリックします。

● 印刷を中止する

❏ ［印刷中止］をクリックします。

● 印刷を一時停止する（LBP5610、LBP5300、LBP5100 のみ）

❏ ［一時停止］をクリックします。

● 印刷を再開する

❏ ［再開］をクリックします。

便利な印刷機能

CAPT プリンタドライバの便利な印刷機能について説明しています。

印刷のスケジュールを設定する

印刷する時刻を指定したり、ジョブに優先順位をつけて印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［スケジューラ］パネルを選択します。**

［スケジューラ］パネルが表示されます。

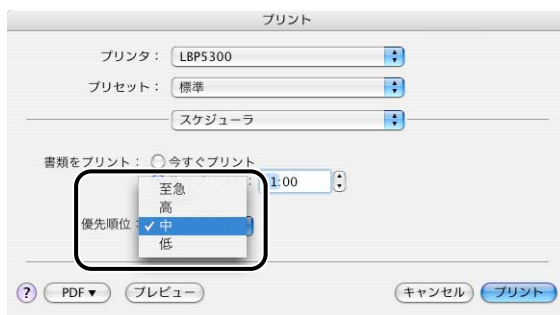
3 **［書類をプリント］／［書類のプリント］から、いつ印刷するかを選択します。**

［後でプリント］を選択した場合は、印刷時刻を設定します。

メモ

［保留］を選択して印刷した場合、プリンタキューウィンドウで保留したのと同じ状態になります。保留したジョブを印刷するには、プリンタキューウィンドウで［再開］をクリックします。

4 ［優先順位］から［至急］、［高］、［中］、［低］を選択します。

優先順位は［至急］が一番高く、［低］が一番低く設定されます。

5 ［プリント］をクリックします。

印刷ページの順番を変える

ページ順を逆にして印刷したり、奇数ページ・偶数ページのみを印刷することができます。この 2 つの機能を使うことで、手動で両面印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［用紙処理］パネルを選択します。

［用紙処理］パネルが表示されます。

3 ページ順を逆にする場合は、以下の設定を行います。

● Mac OS X 10.3.9 の場合

❑ ［ページの順序を逆にする］にチェックマークを付けます。

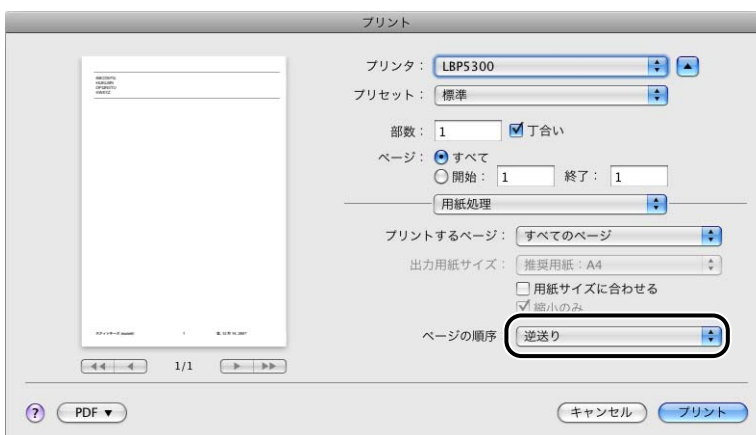
● Mac OS X 10.4.x の場合

❑ ［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

● Mac OS X 10.5.x の場合

❑ ［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

4

便利な印刷機能

4 奇数ページ・偶数ページのみを印刷する場合は以下の設定を行います。

● Mac OS X 10.3.9 の場合

❑ ［プリント］で［奇数ページ］、［偶数ページ］を選択します。

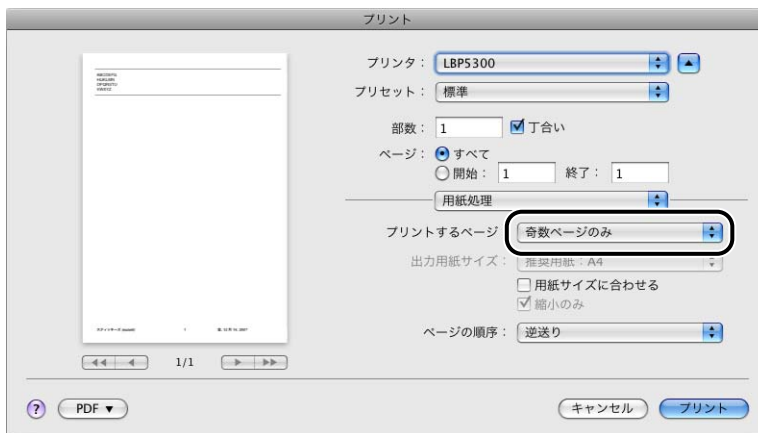
● Mac OS X 10.4.x の場合

❑ ［プリント］で［奇数ページ］、［偶数ページ］を選択します。

● Mac OS X 10.5.x の場合

❑ [プリントするページ] で [奇数ページのみ]、[偶数ページのみ] を選択します。

4

便利な印刷機能

5 ［プリント］をクリックします。

手動で両面印刷する手順例

• Mac OS X 10.3.9 の場合

1. ［ページの順序を逆にする］にチェックマークを付け、［プリント］で［偶数ページ］を指定し印刷します。
2. 用紙を排紙トレイから取り、印刷されていない面が印字面になるようにプリンタにセットします。
印刷するデータの総ページ数が奇数ページの場合は、プリンタにセットする束の一番下に、白紙用紙を 1 枚追加することで、すべてのページを同じ給紙元から印刷することができます。
3. ［ページの順序を逆にする］にチェックマークを外し、［プリント］で［奇数ページ］を指定し印刷します。

• Mac OS X 10.4.x の場合

1. ［ページの順序］で［逆送り］を選択し、［プリント］で［偶数ページ］を指定し印刷します。
2. 用紙を排紙トレイから取り、印刷されていない面が印字面になるようにプリンタにセットします。
印刷するデータの総ページ数が奇数ページの場合は、プリンタにセットする束の一番下に、白紙用紙を 1 枚追加することで、すべてのページを同じ給紙元から印刷することができます。
3. ［ページの順序］で［通常］を選択し、［プリント］で［奇数ページ］を指定し印刷します。

• Mac OS X 10.5.x の場合

1. ［ページの順序］で［逆送り］を選択し、［プリントするページ］で［偶数ページのみ］を指定し印刷します。
2. 用紙を排紙トレイから取り、印刷されていない面が印字面になるようにプリンタにセットします。
印刷するデータの総ページ数が奇数ページの場合は、プリンタにセットする束の一番下に、白紙用紙を 1 枚追加することで、すべてのページを同じ給紙元から印刷することができます。
3. ［ページの順序］で［通常］を選択し、［プリントするページ］で［奇数ページのみ］を指定し印刷します。

色フィルタを指定する（Mac OS X 10.3.9 〜 10.4.x のみ）

印刷するときに Quartz フィルタで色処理を行います。Quartz フィルタは、［PDF として保存］をするときにも有効です。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［ColorSync］パネルを選択します。

［ColorSync］パネルが表示されます。

3 ［Quartz フィルタ］でフィルタを選択します。

Quartz フィルタは標準で以下の種類が用意されています。お好みに合わせて選択してください。

[Black & White]	白と黒の２色（モノクロ２階調）に変換します。
[Blue Tone]	色の部分を青に変換します。
[Gray Tone]	色の部分を黒（グレースケール）に変換します。
[Lightness Decrease]	明度を下げます。
[Lightness Increase]	明度を上げます。

[Reduce File Size]	ファイルサイズを小さくします。
[Sepia Tone]	セピア調に変換します。

4 **［プリント］をクリックします。**

表紙ページを印刷する（Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x のみ）

ジョブの前または後に表紙ページを付けて印刷することができます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［表紙］パネルを選択します。

［表紙］パネルが表示されます。

3 ジョブの前に表紙を付ける場合は［表紙をプリント］で［書類の前］を選択し、ジョブの後に表紙（裏表紙）を付ける場合は［書類の後］を選択します。

4 ［表紙のタイプ］で表紙のタイプを選択します。

5 ［課金情報］に表紙に印刷する課金情報を入力します。

6 ［プリント］をクリックします。

原稿を PDF ファイルとして保存する

原稿を用紙へ印刷する代わりに PDF 形式のファイルとして保存することができます。

Mac OS X 10.3.9 の場合

1 アプリケーションソフトウェア上で、印刷データのファイルとして保存したい原稿を開きます。

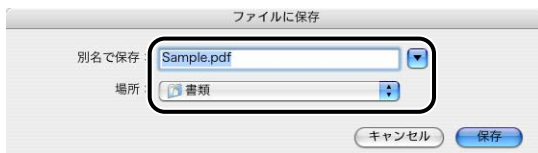
2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

[プリント] ダイアログが表示されます。

3 [PDF として保存] をクリックします。

[ファイルに保存] ダイアログが表示されます。

メモ [出力オプション] パネルを表示して [ファイルとして保存] にチェックマークを付けて [保存] をクリックしても PDF として保存することができます。また、[フォーマット] でファイル形式を選択することもできます。

4 ［ファイルに保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

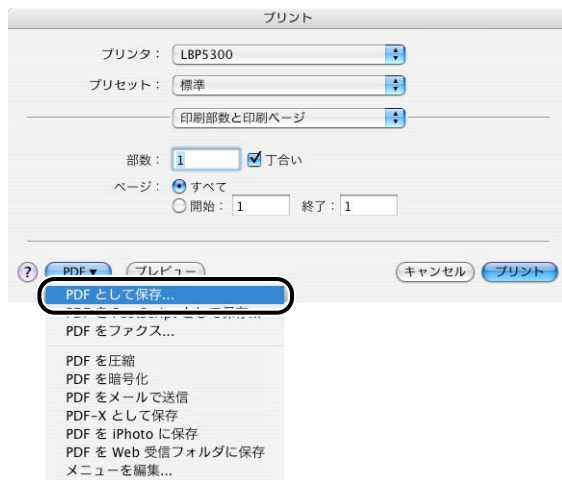
PDF 形式でファイルが作成されます。

Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x の場合

1 アプリケーションソフトウェア上で、印刷データのファイルとして保存したい原稿を開きます。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

3 ［PDF］から［PDF として保存］を選択します。

［保存］ダイアログが表示されます。

4 ［保存］ダイアログで、保存するファイル名と保存場所を設定します。

5 ［保存］をクリックします。

PDF 形式でファイルが作成されます。

ステータスモニタを利用する

ステータスモニタは以下のことを行うことができます。プリンタに何らかの異常を感じたら、ステータスモニタを確認してください。

- 印刷しているジョブの情報（ユーザ名やドキュメント名など）が確認できる
- プリンタにエラーが起こったときや印刷されないときにエラーの内容や処置を確認できる
- ［デバイス設定］ダイアログでプリンタの各種設定ができる
（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ）
（➞P.4-21）
- ジョブの削除や一時停止ができる（➞P.3-28）
- 定着ローラのクリーニングができる
（LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310、LBP3100 のみ）
（➞P.4-25）
- ITB ユニットのクリーニングができる
（LBP5610、LBP5050、LBP5050N のみ）（➞P.4-25）
- プリンタのキャリブレーションや色ずれ補正ができる
（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ）（➞P.4-29）
- 印字位置の調整ができる（LBP5610、LBP5300 のみ）（➞P.4-30）
- 印字不良の原因を調べることができる（LBP5610 のみ）（➞P.4-35）
- カセット用紙サイズを登録することができる
（LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ）（➞P.4-39）
- トナーカートリッジなどの消耗品の寿命の確認ができる
（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ）（➞P.4-41）
- トナーカートリッジのカウンタをリセットできる（LBP5610 のみ）（➞P.4-42）
- 定着器のカウンタをリセットできる（LBP5610 のみ）（➞P.4-43）

ステータスモニタを起動する

ステータスモニタは、次の手順で起動します。

1 **お使いのハードディスクから［ライブラリ］→［Printers］→［Canon］→［CUPSCAPT］の順にクリックし、［StatusMonitor］フォルダを開きます。**

2 [StatusMonitor] アイコンをダブルクリックします。

[ステータスモニタ] ウィンドウが表示されます。

メモ

- ステータスモニタは次の方法でも起動することができます。
  - ・Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.x をお使いの場合は、[プリンタ設定ユーティリティ] を開き、お使いのプリンタを選択し、[ユーティリティ] をクリックします。
  - ・Mac OS X 10.5.x をお使いの場合は、[プリントとファクス] ダイアログでお使いのプリンタを選択し、[プリントキューを開く] をクリックして、[ユーティリティ] をクリックします。
- デスクトップにステータスモニタのエイリアスを作成しておくと、エイリアスをダブルクリックするだけでステータスモニタを起動することができて便利です。

［ファイル］メニュー

ステータスモニタの［ファイル］メニューには、次の機能があります。

■［開く］
［ステータスモニタ］ウィンドウを開きます。

■［閉じる］
［ステータスモニタ］ウィンドウを閉じます。

[ジョブ] メニュー

ステータスモニタの［ジョブ］メニューには、次の機能があります。

■ [一時停止]（LBP5610、LBP5300、LBP5100 のみ）

印刷を一時停止します。

■ [再開]

一時停止したジョブや印刷中に何らかの理由で停止したジョブを再開します。

■ [印刷中止]

印刷を中止します。

[プリンタ] メニュー

ステータスモニタの［プリンタ］メニューには、次の機能があります。

■ [プリンタ名]
印刷状況を監視できるプリンタが表示されます。複数のプリンタがある場合は、監視したいプリンタを選択します。

■ [監視プリンタを検索]
[プリンタ] メニューに目的のプリンタが表示されていない場合、[監視プリンタを検索] を選択することによって、目的のプリンタを検索できます。

■ [プリンタ情報を取得]
プリンタの現在の状態を取得します。

■ [デフォルトにする]
現在表示されている機種が、ステータスモニタを起動したときに表示される機種になります。

[オプション] メニュー

ステータスモニタの [オプション] メニューには、次の機能があります。

■ [消耗品／カウンタ情報] (LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050Nのみ)
トナーカートリッジなどの消耗品の寿命を確認することができます。また、印刷ページ数を確認することもできます。

■ [ユーティリティ]

[キャリブレーション] (LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ)	・LBP5610、LBP5100 の場合 手動でプリンタのキャリブレーションを行います。色味が変わり正しい色 (指定した色) で印刷されないときや色ズレが発生するときなどに実行します。 ・LBP5300、LBP5050、LBP5050N の場合 手動でプリンタのキャリブレーションを行います。色味が変わり正しい色 (指定した色) で印刷されないときなどに実行します。

［色ずれ補正］ （LBP5300、LBP5050、LBP5050N のみ）	色ずれが発生したときに、各色の印字開始位置を調整して色ずれを補正します。
［印字位置調整プリント］ （LBP5610、LBP5300 のみ）	印字位置を調整するときに印刷します。
［テストチャートプリント］ （LBP5610 のみ）	印字不良が発生した場合、テストチャートプリントを印刷して、印字不良の原因を調べます。
［クリーニング］ （LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP3310、LBP3100 のみ）	・LBP5610 の場合 ITB ユニットの転写ベルトに触れてしまうと、印字品質が低下する場合があります。そのような場合に、ITB ユニットの転写ベルトをクリーニングします。 ・LBP5300、LBP5100、LBP3310、LBP3100 の場合 印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、定着ローラをクリーニングします。
［クリーニング 1］ （LBP5050、LBP5050N のみ）	印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、定着ローラをクリーニングします。
［クリーニング 2］ （LBP5050、LBP5050N のみ）	ITB ユニットの転写ベルトに汚れが付着すると、印刷品質が低下する場合があります。そのような場合は、ITB ユニットの転写ベルトをクリーニングします。

■ ［デバイス設定］
（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ）

［カセット用紙サイズの登録］（LBP5300、LBP5100 のみ）	LBP5300、LBP5100 の給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。 ［カセット用紙サイズの登録］ダイアログが表示されますので、［カセット 1］や［カセット 2］のリストから給紙カセットにセットした用紙を選択します。
［印字位置調整］ （LBP5610、LBP5300 のみ）	［オプション］メニューの［ユーティリティ］にある［印字位置調整プリント］で出力した印字位置調整プリントで印字位置を確認し、印字位置（横位置）を調整します。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に選択した数値だけ移動します。
［ジョブキャンセルキー設定］ （LBP5610、LBP5300、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ）	ジョブキャンセルキーを使用してキャンセルすることができるジョブを設定します。このダイアログボックスでの設定は、すべてのユーザのジョブに対して有効となります。

[スリープ設定] (LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ)	スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が[移行時間]で設定した時間を経過したときに、スリープモードに移行します。スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモードを使用する場合は、[スリープモードを使用する]にチェックマークを付けて、スリープモードに移行するまでの時間を[移行時間]で設定します。
[キャリブレーション設定] (LBP5610、LBP5300、LBP5100 のみ)	・LBP5610 の場合 毎日、指定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うように設定することができます。 ・LBP5300 の場合 毎日、指定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うように設定することができます。また、電源を入れた直後にキャリブレーションを行うかどうかを設定することもできます。 ・LBP5100 の場合 毎日、指定した時刻に自動的にキャリブレーションを行うように設定することができます。また、コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が一定時間経過したときに、自動的にキャリブレーションを行うかどうかを設定することができます。さらに、プリンタの電源を入れた直後や、何らかの理由でキャリブレーションを行う必要があるときに、優先してキャリブレーションを行うかどうかの設定することもできます。
[プリンタ起動時の設定] (LBP5050、LBP5050N のみ)	プリンタの電源を入れた直後に、キャリブレーションや色ずれの補正を行うかどうかを設定します。電源を入れた直後に行うと、印刷可能な状態になるまでに時間がかかります。 [あとで行う]を選択すると、電源を入れてから 15 分後にキャリブレーションと色ずれの補正を行います。 [すぐに行う (レベル 1)]を選択すると、電源を入れた直後に、色ずれの補正のみを行います。キャリブレーションは、電源を入れてから 15 分後に行います。 [すぐに行う (レベル 2)]を選択すると、電源を入れた直後に、キャリブレーションと色ずれの補正を行います。
[カセット設定] (LBP5610、LBP5300、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ)	・LBP5610、LBP5300 の場合 [給紙]パネルの[給紙部]を[自動]に設定した場合(自動給紙選択時)に、どの給紙カセットを使用するかを設定します。また、LBP5610 の場合、ユーザ定義用紙の送り方向を設定することもできます。 ・LBP5050、LBP5050N、LBP3310 の場合 LBP5050、LBP5050N、LBP3310の給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。 [カセット設定]ダイアログが表示されますので、[カセット 1]や[カセット 2](LBP3310 のみ)のリストから給紙カセットにセットした用紙を選択します。
[消耗品情報リセット] (LBP5610 のみ)	ステータスモニタに「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合、トナーカートリッジのカウンタをリセットします。
[部品カウンタリセット] (LBP5610 のみ)	定着器を交換した場合、定着器のカウンタをリセットします。

<table>
<tr><td>[警告表示設定]
(LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ)</td><td>プリンタの状態を警告するメッセージ(トナーカートリッジなどの消耗品の交換時期が近づいたことを知らせるメッセージ)をステータスモニタに表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">[小サイズ紙特殊設定]
(LBP5610 のみ)</td><td>[小サイズ紙特殊処理 1]
幅の狭い用紙(A5 サイズなど)から幅の広い用紙(A4 サイズなど)へ切り替えて印刷する場合、印字品質を保つために、一時的に印刷を中断し、定着器の冷却を行うことがあります。このときの印刷待ち時間を設定します。
・[画質優先]へつまみをドラッグすると、画質を優先して印刷します(ただし、印刷待ち時間が長くなることがあります)。
・[スピード優先]へつまみをドラッグすると、印刷待ち時間を短くして印刷します(ただし、用紙の両端に一度印刷した文字や画像の残像が印字されることがあります)。</td></tr>
<tr><td>[小サイズ紙特殊処理 2]
幅の狭い用紙(A5 サイズなど)を連続で印刷する場合、印字品質を保つために、一時的に印刷を中断し、定着器の冷却を行うことがあります。このときの印刷待ち時間を設定します。
・[画質優先]へつまみをドラッグすると、画質を優先して印刷します(ただし、印刷待ち時間が長くなることがあります)。
・[スピード優先]へつまみをドラッグすると、印刷待ち時間を短くして印刷します(ただし、連続印刷したあとに幅の広い用紙を印刷した場合、用紙の両端に一度印刷した文字や画像の残像が印字されることがあります)。</td></tr>
</table>

[印刷補助設定] (LBP5300、 LBP5100、LBP5050、 LBP5050N のみ)	・LBP5300 の場合 カラーで作成したページとモノクロのみで作成したページが混在しているデータを印刷するときのプリンタの処理方法を設定します。 [カラー / モノクロ混在原稿を高速で印刷する] にチェックマークを付けると、チェックマークを付けないときに比べてカラー/ モノクロの混在原稿をより速く印刷できる場合があります。[カラー / モノクロ混在原稿を高速で印刷する]にチェックマークを付けた場合、必要に応じて [印刷モード] を選択します。 [モード 1] は、カラー/ モノクロの混在原稿を [モード 2]、[モード 3] より速く印刷できる場合があります。 [モード 2] は、カラーで作成したページのあとにモノクロのみで作成したページが複数枚続くようなデータの場合、[モード 3] より速く印刷できる場合があります。 [モード 3] は、カラーで作成したページ内にモノクロのみで作成したページが一枚だけ混在しているようなデータの場合、[モード 2] より速く印刷できる場合があります。 ・LBP5100 の場合 カラーで作成したページとモノクロのみで作成したページが混在しているデータを印刷するときや印刷時にすじ状の汚れが付着したときのプリンタの処理方法を設定します。 [カラー / モノクロ混在原稿を高速で印刷する] にチェックマークを付けると、チェックマークを付けないときに比べてカラー/ モノクロの混在原稿をより速く印刷できる場合があります。 [印刷時に付着するすじ状の汚れを抑制する] にチェックマークを付けると、印刷した用紙にすじ状の汚れが付着する問題を改善できる場合があります。 ・LBP5050、LBP5050N の場合 印刷するときの処理方法などを設定します。 [カラー / モノクロ混在原稿を高速で印刷する]: カラーページとモノクロページが混在しているデータを、印刷するときの処理方法を設定します。 チェックマークを付けると、チェックマークを付けないときに比べて、カラー / モノクロの混在原稿をより速く印刷できる場合があります。 [長時間休止後の印字不良を抑制する]: 印刷を長時間行わなかった場合に、印刷した用紙の中間調部分に細い横線が入ることがあります。チェックマークを付けると、この問題を改善できる場合があります。 [連続印刷時に 2 枚ごとにクリーニングする]: 用紙の種類によっては、連続印刷を行った場合、2 ページ前の画像が薄く印刷される * ことがあります。チェックマークを付けると、この問題を改善できる場合があります。 * 例えば、5 ページ目に 3 ページ目の画像が薄く印刷される

■ [リモート UI] (LBP5050N、LBP3310 のみ)

リモート UI を起動します。リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使用してプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」* を参照してください。

* LBP5050N の場合、ユーザーズガイドの「パソコンからの管理/設定」-「リモート UI での管理/設定」を参照してください。

重要 プリンタとコンピュータがネットワーク経由で通信できない場合は、[リモート UI] を選択できません。

プリンタをクリーニングする

定着ローラのクリーニング（LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310、LBP3100 のみ）

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラをクリーニングします。

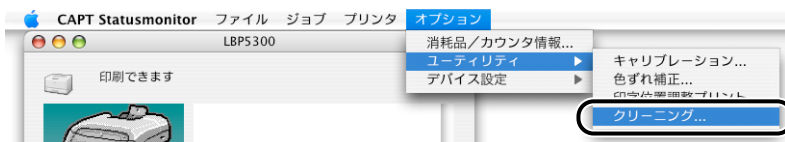
1 **プリンタに A4 サイズの用紙をセットします。**

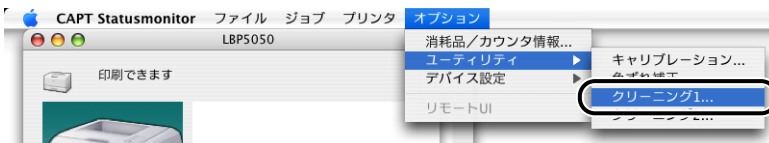
2 **ステータスモニタを起動します。**

メモ　ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

3 **ステータスモニタの［オプション］メニューの［ユーティリティ］からクリーニングを行います。**

● LBP5300、LBP5100、LBP3310、LBP3100 の場合

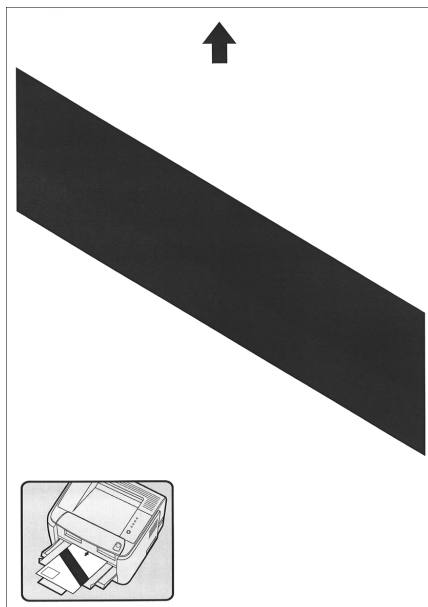
❏［クリーニング］を選択します。

● LBP5050、LBP5050N の場合

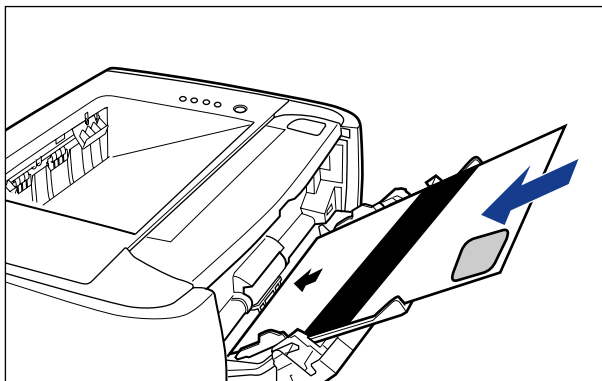
❏［クリーニング 1］を選択します。

4 メッセージが表示されるので、［OK］をクリックします。

● LBP5300、LBP5100、LBP3310、LBP3100 の場合

● LBP5050、LBP5050N の場合

LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3100 の場合、クリーニングがはじまります。「クリーニング中です」のメッセージが表示されます。メッセージが消えれば終了です。

LBP3310 の場合、クリーニングページが印刷されます。

5 LBP3310の場合、次の操作を行います。

- ❑ 手差しトレイに用紙がセットされている場合は、セットされている用紙を取り除きます。
- ❑ クリーニングページの印刷された面を上にして、手差しトレイにセットします。

用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ
- クリーニングの実行には、LBP5300 の場合約 40 秒、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310の場合約80秒、LBP3100の場合約180秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

ITBユニットのクリーニング（LBP5610、LBP5050、LBP5050Nのみ）

ITBユニットの転写ベルトに触れたり、汚れが付着すると、印刷品質が低下する場合があります。そのような場合は、次の手順でITBユニットの転写ベルトをクリーニングします。

1 ステータスモニタを起動します。

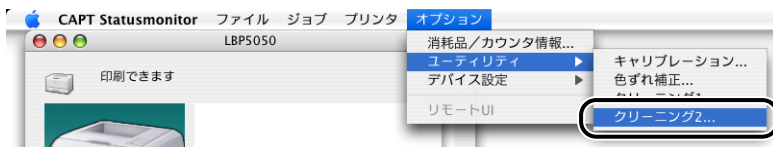
メモ
ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューの［ユーティリティ］からクリーニングを行います。

● LBP5610 の場合

❏ ［クリーニング］を選択します。

● LBP5050、LBP5050N の場合

❏ ［クリーニング 2］を選択します。

3 メッセージが表示されるので、［OK］をクリックします。

● LBP5610 の場合

● LBP5050、LBP5050N の場合

「クリーニング中です」のメッセージが表示されて、クリーニングがはじまります。メッセージが消えれば終了です。

メモ
- クリーニングの実行には、LBP5610 の場合約 180 秒、LBP5050、LBP5050N の場合約 85 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

プリンタのキャリブレーション／色ずれ補正を行う（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050Nのみ）

色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときや色ずれが発生するときなどに、キャリブレーションや色ずれ補正（LBP5300、LBP5050、LBP5050N のみ）を行います。

重要　頻繁にキャリブレーションや色ずれ補正を行うと、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。

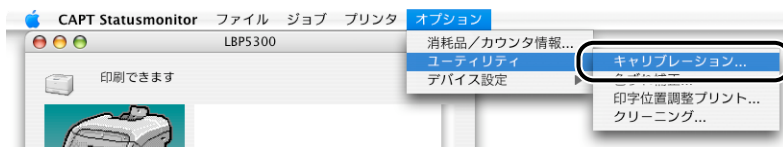
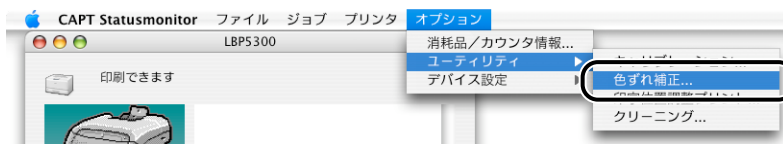
1 **ステータスモニタを起動します。**

メモ　ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

2 **ステータスモニタの［オプション］メニューの［ユーティリティ］からキャリブレーションと色ずれ補正を行います。**

● LBP5300、LBP5050、LBP5050N の場合

❑ キャリブレーションと色ずれ補正は、別々の操作で行います。

- キャリブレーションを行う場合、［キャリブレーション］を選択します。

- 色ずれ補正を行う場合、［色ずれ補正］を選択します。

● LBP5610、LBP5100 の場合

❑ キャリブレーションと色ずれ補正は、［キャリブレーション］を選択して行います。

3 メッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

キャリブレーションがはじまります。

メモ
- キャリブレーションの実行には、LBP5610、LBP5300の場合約60秒、LBP5100の場合約150秒、LBP5050、LBP5050Nの場合約95秒かかります。
- 色ずれ補正の実行には、LBP5300の場合約100秒、LBP5050、LBP5050Nの場合約95秒かかります。

印字位置を調整する（LBP5610、LBP5300のみ）

特定の給紙部からの印字位置がずれている場合に、ステータスモニタから印字位置を調整することができます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

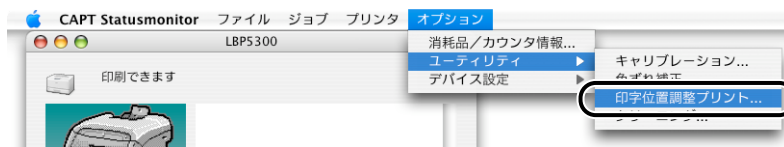
メモ　両面印刷時の2面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや［仕上げ］パネルの［とじ方向］の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

印字位置の確認

印字位置プリントを印刷し、調整する位置を確認します。

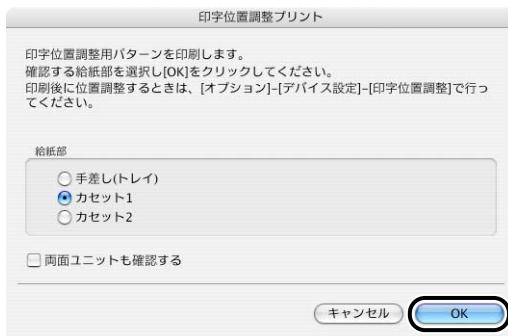
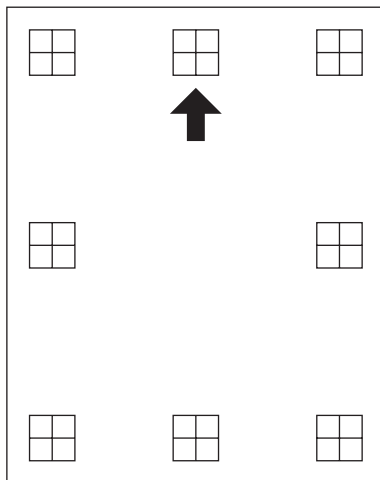
1 ステータスモニタを起動します。

メモ　ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」(→P.4-16) を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

［印字位置調整プリント］ダイアログが表示されます。

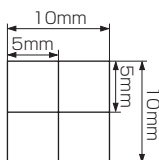
3 ［給紙部］から印字位置を確認したい給紙部を選択します。

両面印刷時の印字位置を調整する場合は、［両面ユニットも確認する］にチェックマークを付けます。

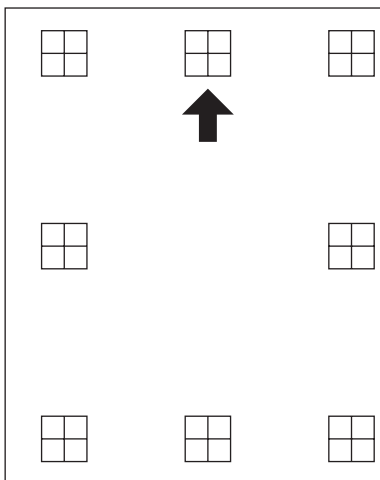
4 ［OK］をクリックします。

以下のような印字位置プリントが印刷されます。印字された矢印の先端が、印字位置プリントの上端になります。

メモ　手順 3 で［両面ユニットも確認する］にチェックマークを付けて印字位置調整プリントを印刷した場合、黒の矢印が印字された面が表面（1 面目）の印刷結果となり、白抜きの矢印が印字された面が裏面（2 面目）の印刷結果となります。

次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（➞P.4-32）で、調整する位置を設定します。

印字位置の調整

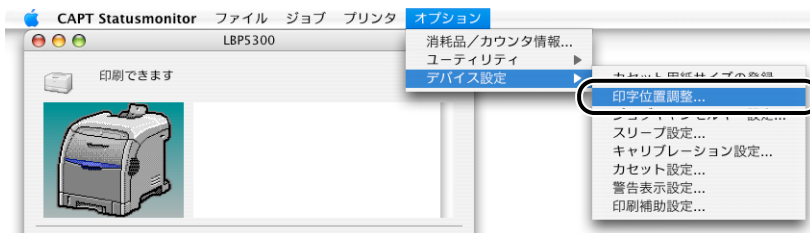
印刷された用紙に印字された "田" は以下の数値で形成されています。

※用紙の端からそれぞれ5mm

ここでは例として、［印字位置調整プリント］ダイアログの［給紙部］で［カセット 1］を選択し、以下の印字位置プリントが印刷された場合の設定を行います。

この場合、左方向に調整を行います。

メモ　印字位置が調整できる範囲は、LBP5610 の場合 -10.0 ～ +10.0mm、LBP5300 の場合 -2.22 ～ +2.22mm で、横方向のみです。

1 ステータスモニタを起動します。

メモ　ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［印字位置調整］を選択します。

［印字位置調整］ダイアログが表示されます。

3 ［印字位置調整］ダイアログで印字位置を調整します。

印字位置調整プリントの印刷結果を見て、調整する数値を選択します。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に選択した数値だけ移動します。

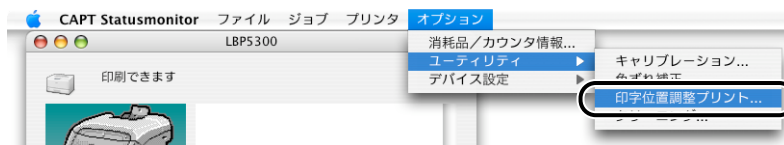
• LBP5610

• LBP5300

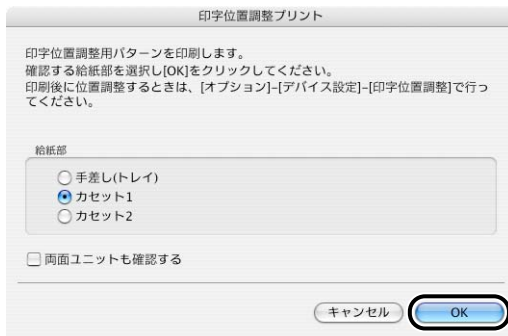
メモ
- LBP5610は、0.1mm単位で数値を入力して印字位置を調整します。
- LBP5300は、リストから数値を選択して印字位置を調整します。

4 ［OK］をクリックします。

• LBP5610　　• LBP5300

5 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

［印字位置調整プリント］ダイアログが表示されます。

6 印字位置を調整した給紙部を選択します。

7 [OK] をクリックします。

設定が変更された印字位置が印刷されます。印字結果を見て、印字位置の確認をします。さらに印字位置の調整を行う場合は、手順 1 ～ 7 を繰り返します。

テストチャート 1 を印刷する（LBP5610 のみ）

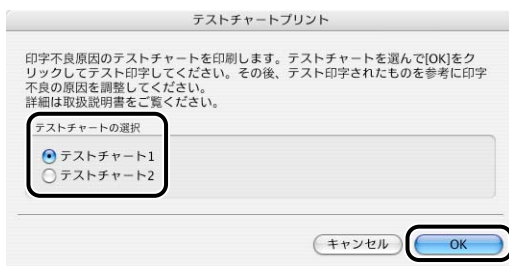
テストチャート 1 は、印字不良の原因がドラムカートリッジかどうかを判断するときに印刷します。テストチャート 1 は、次の手順で印刷します。

メモ　テストチャート 1 は、A4 サイズの用紙 8 枚に印刷されます。A4 サイズの用紙をセットしてください。

1 ステータスモニタを起動します。

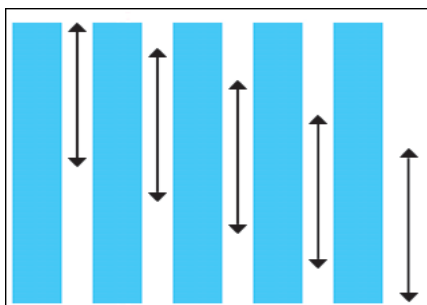
ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（➞P.4-16）を参照してください。

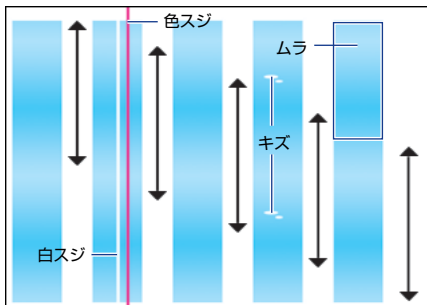
2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［テストチャートプリント］を選択します。

3 ［テストチャート 1］を選択して、［OK］をクリックします。

4 印刷したテストチャート1に次のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合

4

便利な印刷機能

すべてのテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、続いて「テストチャート 2 を印刷する（LBP5610 のみ）」（➞P.4-38）を行ってください。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合

すべての色のテストチャート 1 に不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、続いて「テストチャート 2 を印刷する（LBP5610 のみ）」（➞P.4-38）を行ってください。

特定の色のテストチャート 1 にのみ不具合（キズやムラ、スジなど）があり、印字不良が発生したプリントのキズやムラ、スジと位置や特長が同じであった場合は、次の処置を行ってください。

- テストチャート 1 に白いスジがあった場合：お買い求めの販売店へご連絡ください。
- テストチャート 1 に白いスジがなかった場合：不具合（キズやムラ、スジなど）があった色のドラムカートリッジを交換します。ドラムカートリッジの交換については、「ユーザーズガイド」を参照してください。ドラムカートリッジを交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

テストチャート 2 を印刷する（LBP5610 のみ）

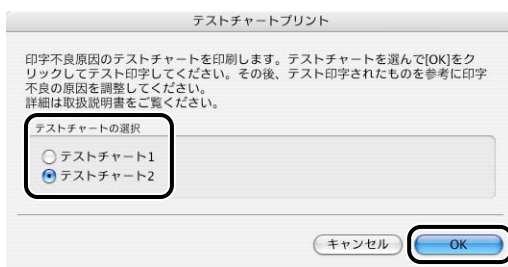
テストチャート 2 は、印字不良の原因が定着器かどうかを判断するときに印刷します。テストチャート 2 は、次の手順で印刷します。

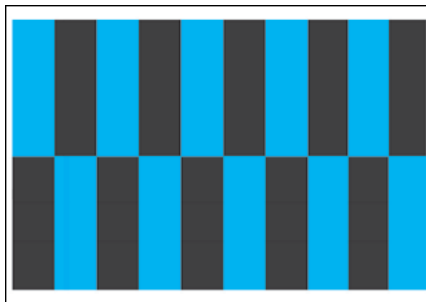
メモ　テストチャート 2 は、A4 サイズの用紙 1 枚に印刷されます。A4 サイズの用紙をセットしてください。

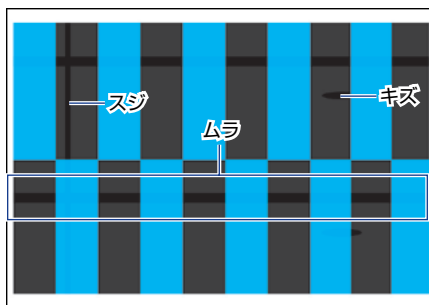
1 ステータスモニタを起動します。

ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［テストチャートプリント］を選択します。

3 ［テストチャート 2］を選択して、［OK］をクリックします。

4 印刷したテストチャート2に次のようなキズやムラ、スジがないかを確認します。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合

テストチャート 2 に不具合（キズやムラ、スジなど）がない場合は、プリンタに何らかの不具合がある可能性があります。お買い求めの販売店へご連絡ください。

●不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合

テストチャート 2 に不具合（キズやムラ、スジなど）がある場合は、定着器を交換します。定着器の交換については、「ユーザーズガイド」を参照してください。定着器を交換しても、印字不良が解決しなかった場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

用紙サイズの登録（LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 のみ）

LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N、LBP3310 の給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセットにセットした用紙サイズを登録する必要があります。以下の手順に従って、給紙カセットの用紙サイズの登録を行ってください。

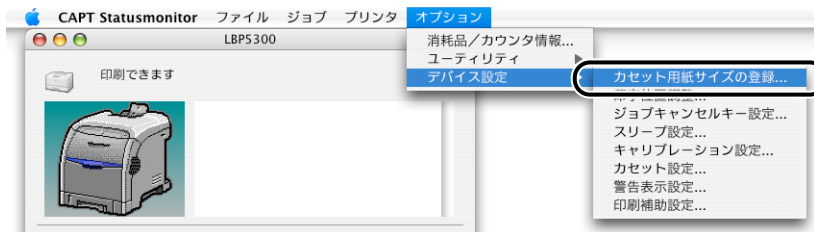
メモ

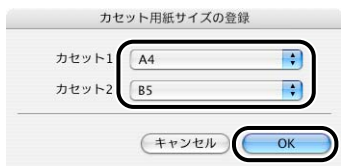
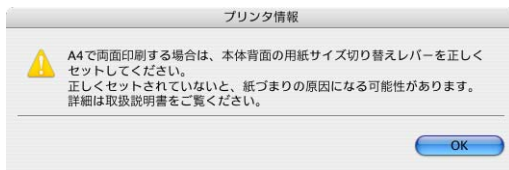
印刷中は用紙サイズの登録はできませんので、印刷していないことを確認して登録してください。ただし、以下のメッセージが表示されている場合は、用紙サイズの登録はできます。

・一時停止中です（LBP5300、LBP5100 のみ）
・用紙が指定と異なります
・用紙がありません

1 ステータスモニタを起動します。

メモ　ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」(→P.4-16)を参照してください。

2 [オプション] メニューから [デバイス設定] → [カセット用紙サイズの登録] (LBP5300、LBP5100 の場合) ／ [カセット設定] (LBP5050、LBP5050N、LBP3310 の場合) を選択します。

[カセット用紙サイズの登録] ／ [カセット設定] ダイアログが表示されます。

3 [カセット 1] や [カセット 2] (LBP5300、LBP5100、LBP3310のみ) のリストから給紙カセットにセットした用紙を選択し、[OK] をクリックします。

LBP3310 の場合、A4、レター、リーガルサイズに変更した場合、次の画面が表示されます。

両面印刷する場合：　プリンタ背面の用紙サイズ切り替えレバーを正しくセットしてから、[OK] をクリックします。

両面印刷しない場合：　そのまま [OK] をクリックします。

メモ　用紙サイズ切り替えレバーのセット方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

消耗品／カウンタ情報の表示（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ）

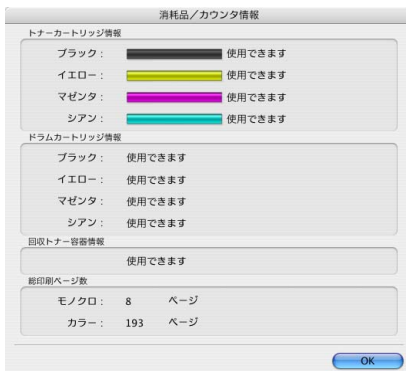
トナーカートリッジなどの消耗品の寿命を確認することができます。また、印刷ページ数を確認することもできます。

1 ステータスモニタを起動します。

メモ　ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［消耗品／カウンタ情報］を選択します。

［消耗品／カウンタ情報］ダイアログが表示されます。

- LBP5610

- LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N

アイコンやメッセージの意味は以下のとおりです。

（例：ブラックトナーカートリッジ）

アイコン	メッセージ	意味
	使用できます	通常の使用できる状態です。
	交換時期が近づいています	トナーカートリッジの寿命が近づいています。交換用のトナーカートリッジを用意してください。
	交換してください	トナーカートリッジが寿命になりました。トナーカートリッジを交換してください。
	セットしてください	トナーカートリッジが装着されていません。

メモ ［警告表示設定］でチェックマークを消した消耗品は、交換時期が近づいていることを示すアイコンやメッセージは表示されません。

4

便利な印刷機能

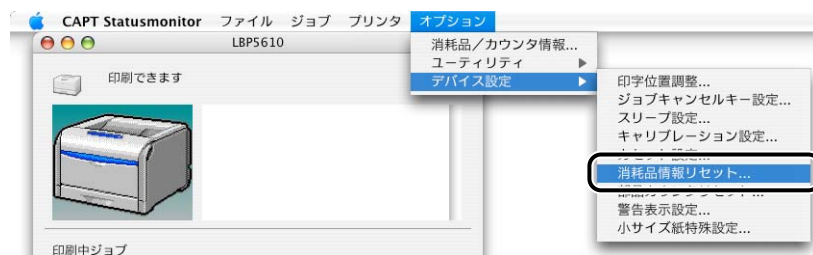
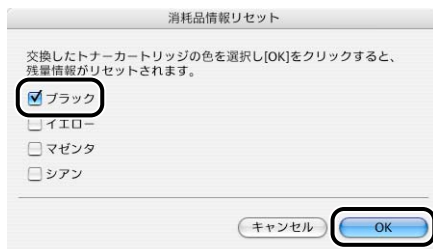
トナーカートリッジのカウンタをリセットする（LBP5610のみ）

「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態でトナーカートリッジを交換した場合は、次の手順で必ずトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。カウンタのリセットを行わないと、トナーカートリッジの寿命が正しく検知されなくなります。

重要 この操作は「トナーカートリッジの交換が必要です」のメッセージが表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合にのみ行ってください。

1 ステータスモニタを起動します。

ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（➞P.4-16）を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［デバイス設定］➞［消耗品情報リセット］を選択します。

3 交換した色のトナーカートリッジを選択して、[OK] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

メモ　トナーカートリッジのカウンタをリセットしたあと、「トナーカートリッジの交換が必要です」が表示された場合は、次の操作を行ってください。

1. 交換したトナーカートリッジを取り出す
2. 取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならす
3. トナーカートリッジを取り付ける

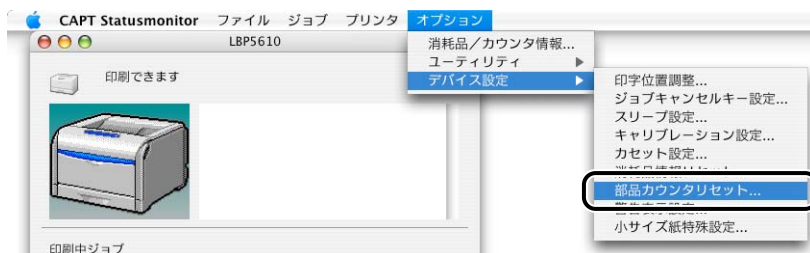
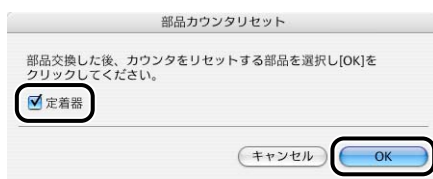
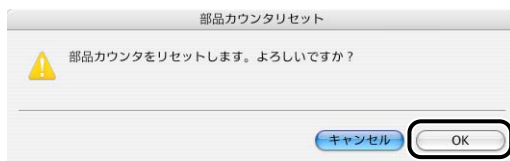
定着器のカウンタをリセットする（LBP5610 のみ）

定着器を交換したあとは、ステータスモニタに表示されている「定着器の交換時期が近づいています」を消すために、次の手順でカウンタのリセットを行います。

重要　この操作は定着器の交換時にのみ行ってください。定着器を交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、プリンタが故障する原因になります。

1 ステータスモニタを起動します。

ステータスモニタの起動方法については、「ステータスモニタを起動する」（→P.4-16）を参照してください。

2 ステータスモニタの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［部品カウンタリセット］を選択します。

3 ［定着器］を選択して、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

ユーザ定義用紙や長尺紙（LBP5610 のみ）を設定する

アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズには、用意されている定形用紙以外に、独自に用紙を設定することができます。この用紙を、ユーザ定義用紙と呼びます。

また、LBP5610 の場合、長尺紙もユーザ定義用紙として使用できます。

Mac OS X 10.3.9 の場合

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリント設定］）を選択します。**

［ページ設定］ダイアログが表示されます。

2 **［ページ設定］ダイアログで、［カスタム用紙サイズ］パネルを選択します。**

3 **［新規］をクリックします。**

4 ユーザ定義用紙（長尺紙）の名称、［用紙サイズ］、［プリンタの余白］を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

［カスタム用紙リスト］	用紙の名前を入力します。
［用紙サイズ］	用紙の長さ（縦）と幅（横）を設定します。設定できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（➞P.3-11）を参照してください。
［プリンタの余白］	余白を設定します。余白は上下左右 0.5cm 以上に設定してください。

メモ

- 一度登録した用紙を削除するときは、まず［カスタム用紙リスト］で削除する用紙を選択し、［削除］をクリックしてください。
- ［用紙サイズ］、［プリンタの余白］の入力単位（cm/in）は、［システム環境設定］➞［言語環境］➞［書式］の順にクリックし、［計量単位］で［U.S.］、［メートル法］のどちらかを選択します。
- ［用紙サイズ］、［プリンタの余白］に表示されるデフォルトの数値は、［プリンタ設定ユーティリティ］➞［環境設定］➞［" ページ設定 " のデフォルトの用紙サイズ］で選択した用紙のサイズが表示されます。

5 ［保存］をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

6 さらに別の用紙設定を行う場合は、手順３ ～ ５を繰り返します。

Mac OS X 10.4.x ～ 10.5.x の場合

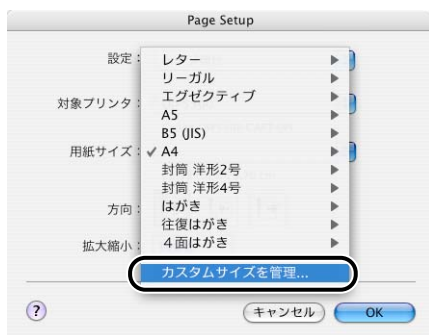
1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリント設定］）を選択します。**

［Page Setup］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.5.x の場合、アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログは表示されません。このようなアプリケーションソフトウェアでは、［プリント］ダイアログで［ページ設定］（［Page Setup］）ダイアログの設定を行います。

2 **［Page Setup］ダイアログで、［ページ属性］パネルを選択します。**

［ページ属性］パネルが表示されます。

3 **［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理］を選択します。**

［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログが表示されます。

4 **［+］をクリックします。**

5 ユーザ定義用紙（長尺紙）の名称、［ページサイズ］、［プリンタの余白］を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

［カスタムページリスト］	用紙の名前を入力します。
［ページサイズ］	用紙の長さ（縦）と幅（横）を設定します。設定できる用紙サイズは、お使いのプリンタによって異なります。詳しくは、「印刷できる用紙サイズ」（➞P.3-11）を参照してください。
［プリンタの余白］	余白を設定します。余白は上下左右 0.5cm 以上に設定してください。 ［プリンタの余白］ポップアップリストからプリンタを選択すると、選択したプリンタに適した余白が設定されます。プリンタリストに登録されているプリンタのみ選択可能です。

メモ

- 一度登録した用紙を削除するときは、まず［カスタムページリスト］で削除する用紙を選択し、[-］をクリックしてください。
- ［ページサイズ］、［プリンタの余白］の入力単位（cm/in）は、［システム環境設定］➞［言語環境］➞［書式］の順にクリックし、［計量単位］（［測定単位］）で［U.S.］（［US］）、［メートル法］のどちらかを選択できます。
- ［ページサイズ］、［プリンタの余白］に表示されるデフォルトの数値は、［システム環境設定］➞［プリントとファクス］➞［" ページ設定 " のデフォルトの用紙サイズ］で選択した用紙のサイズが表示されます。

6 さらに別の用紙設定を行う場合は、手順４ ～ ５を繰り返します。

7 ［OK］をクリックします。

設定した用紙が登録されます。

印刷品質の設定

印刷品質の設定手順について説明しています。

印刷品質を設定する

写真を含む原稿などは、階調や品質を設定することによって、よりきれいに印刷できます。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

● LBP5610 の画面例

● LBP3310 の画面例

設定内容は、以下の通りです。

[品質] **(LBP5610 のみ)**	印刷データを処理するときの解像度を設定します。 [ファイン（600 dpi)]：一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。 [スーパーファイン（1200 dpi)]：きめ細かい解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。特に小さい文字が多く含まれるデータをプリントするのに適したモードです。

項目	説明
［階調］ **（LBP5610、 LBP5300、 LBP5100、 LBP5050、 LBP5050N のみ）**	中間調のデータを印刷するときの階調を設定します。 ［高階調 1］：　多値処理による品質の高い印刷を行います。 ［高階調 2］：　［高階調　1］よりさらに品質の高い印刷を行います。 ［標準］：　［品質］を［スーパーファイン（1200 dpi）］に設定すると、［標準］に固定されます。［ファイン（600 dpi）］に設定した場合は、選択できません。LBP5610 のみ表示されます。
［カラー中間調］ **（LBP5610、 LBP5300、 LBP5100、 LBP5050、 LBP5050N のみ）**	カラー印刷するときの中間調の表現方法を設定できます。 ［解像度］：　一般的な文字や写真、イメージなどを美しく印刷します。ほとんどのデータは、この項目を選択すると美しく印刷できます。 ［階調］：　グラフィックやCG でグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。 ［色調］：　原稿を複数枚印刷する場合に色味の違いが目立たなくなります。写真、イメージなどの原稿に適しています。
［モノクロ中間調］ **（LBP5610、 LBP5300、 LBP5100、 LBP5050、 LBP5050N のみ）**	モノクロ印刷するときの中間調の表現方法を設定できます。 ［解像度］：　一般的な文字や写真、イメージなどを美しく印刷します。ほとんどのデータは、この項目を選択すると美しく印刷できます。 ［階調］：　グラフィックやCG でグラデーションを多用しているデータなどを美しく印刷します。 ［色調］：　原稿を複数枚印刷する場合に色味の違いが目立たなくなります。写真、イメージなどの原稿に適しています。 ［なし（黒ベタ）］：　白以外の色をすべて黒で印刷します。
［中間調］ **（LBP3310、 LBP3100 のみ）**	中間調の表現方法を設定できます。 ・LBP3310 の場合 ［パターン 1］：　写真を印刷する場合にメリハリをつけて印刷できます。人物や明暗を強調したい画像を印刷する場合に適しています。 ［パターン 2］：　一般的な文章を印刷する場合に選択します。 ［パターン 3］：　色のついた文字や細線をよりきれいに印刷できます。 ［なし（黒ベタ）］：　白以外の色をすべて黒で印刷します。 ・LBP3100 の場合 ［パターン 1］：　一般的な文章を印刷する場合に選択します。 ［パターン 2］：　色のついた文字や細線をよりきれいに印刷できます。 ［なし（黒ベタ）］：　白以外の色をすべて黒で印刷します。
［トナー濃度］	トナーの濃度を調節します。［トナー濃度］のつまみを左右にドラッグして、濃度設定を変更します。
［ドラフトモード］	本モードを使用すると、データを間引いて印刷が行われます。

[グレー補償] (LBP5610、 LBP5300、 LBP5100、 LBP5050、 LBP5050N のみ)	グレー補償を行うかどうかを設定します。グレー補償を行うと、黒色と灰色のデータが確実に黒色や灰色で印刷されます。

5 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

6 [プリント]をクリックします。

色の設定をする

［印刷品質］パネルの［色設定］をクリックすると、［色設定］ダイアログが表示され、［色調整］シートや［マッチング］シートで、カラー／グレーの詳細な設定や補正を行うことができます。

カラーモードを設定する（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ）

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［カラーモード］で印刷するカラーモードを選択します。**

設定内容は、以下の通りです。

［モノクロ］	カラーの原稿でも黒のみで印刷します。
［カラー］	CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の４色で印刷します。
［カラー / モノクロ自動切替］	原稿の種類によって、カラー印刷とモノクロ印刷を自動的に切り替えます。

5

印刷品質の設定

メモ

- ［カラー / モノクロ自動切替］を選択した場合、アプリケーションの出力によっては一部のモノクロページがフルカラーモードで印刷されることがあります。
- ［カラー / モノクロ自動切替］を選択した場合、［カラー］、［モノクロ］で印刷したときよりも印刷が遅くなることがあります。

4 **［プリント］をクリックします。**

カラー / モノクロの詳細な設定をする

1 **アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 **［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。**

［印刷品質］パネルが表示されます。

3 **［色設定］をクリックします。**

［色設定］ダイアログが表示されます。

4 ［色調整］シートを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[明るさ]	印刷するときの明るさを調整します。[明るさ] のつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。
[コントラスト]	印刷するときのコントラストを調整します。[コントラスト] のつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。

メモ コントラストを強くすると、暗い部分と明るい部分の差が大きくなり、シャープな画像になります。逆に、コントラストを弱くすると暗い部分と明るい部分の差が小さくなります。

5 ［マッチング］シートを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

設定内容は、以下の通りです。

[マッチングモード]	色補正の処理方法を設定します。[カラーモード]が[モノクロ]に設定されている場合、[ガンマ補正]のみ選択可能です。 ・[ドライバ補正モード]： プリンタドライバで色の処理を行います。 ・[埋め込みプロファイル優先モード]： 印刷する画像に埋め込まれたカラープロファイルを使用して色の処理を行います。 ・[ガンマ補正]： ガンマ補正を設定する場合は、この項目を選択して、[ガンマ補正]でガンマ補正値を設定してください。 ・[使わない]： プリンタドライバではカラーマッチングを行いません。アプリケーション側のカラーマッチングを優先させたいときに設定します。
[マッチング方法]	マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。
[モニタ・スキャナの設定]	使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目を選択します。
[ガンマ補正]	[マッチングモード]を[ガンマ補正]に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。

メモ

ガンマ補正を設定すると、原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節できます。出力した結果が元の画像に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどにお使いください。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。[ガンマ補正]を[1.0]に設定した場合、印刷結果は画面表示よりも明るくなります。これは、多くのモニタの本来のガンマ値が、1.4～1.8ぐらいであるためです。

6 [色設定]ダイアログの[OK]をクリックします。

7 [プリント]をクリックします。

きれいにカラー印刷する（LBP5610、LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N のみ）

次の手順でカラーの原稿を印刷するときれいに印刷することができます。

写真のデータをきれいに印刷する

写真の原稿を印刷する場合は、以下の設定を行って印刷します。設定を［プリセット］に登録しておくと便利です。

1 アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

2 ［プリント］ダイアログで、［印刷品質］パネルを選択します。

［印刷品質］パネルが表示されます。

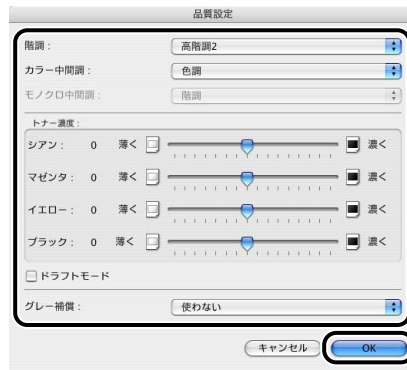
3 ［カラーモード］で、［カラー］を選択します。

4 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

5 ［品質設定］ダイアログで次の設定を行います。

- LBP5610

- LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N

● LBP5610 の場合

[品質]	[ファイン（600 dpi）]
[階調]	[高階調 2]
[カラー中間調]	[色調]
[グレー補償]	[使わない]

● LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N の場合

[階調]	[高階調 2]
[カラー中間調]	[色調]
[グレー補償]	[使わない]

6 ［品質設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

7 ［色設定］をクリックします。

［色設定］ダイアログが表示されます。

8 [マッチング] シートを表示し、次の設定を行います。

[マッチングモード]	[ドライバ補正モード]
[マッチング方法]	[写真調]

9 [色設定] ダイアログの [OK] をクリックします。

10 [プリント] をクリックします。

色つきの線や文字のデータをきれいに印刷する

色つきの線や文字が含まれている原稿を印刷する場合は、以下の設定を行って印刷します。設定を [プリセット] に登録しておくと便利です。

1 アプリケーションソフトウェアの [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

[プリント] ダイアログが表示されます。

2 [プリント] ダイアログで、[印刷品質] パネルを選択します。

[印刷品質] パネルが表示されます。

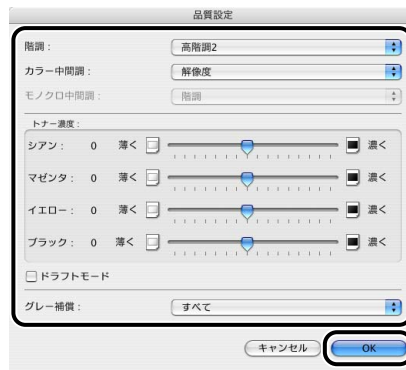
3 ［カラーモード］で、［カラー］を選択します。

4 ［品質設定］をクリックします。

［品質設定］ダイアログが表示されます。

5 ［品質設定］ダイアログで次の設定を行います。

- LBP5610

- LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N

● LBP5610 の場合

［品質］	［スーパーファイン（1200 dpi）］
［カラー中間調］	［解像度］
［グレー補償］	［すべて］

●LBP5300、LBP5100、LBP5050、LBP5050N の場合

[階調]	[高階調 2]
[カラー中間調]	[解像度]
[グレー補償]	[すべて]

6 [品質設定] ダイアログの [OK] をクリックします。

7 [色設定] をクリックします。

[色設定] ダイアログが表示されます。

8 [マッチング] シートを表示し、次の設定を行います。

[マッチングモード]	[ドライバ補正モード]
[マッチング方法]	[鮮やかな色に]

9 [色設定] ダイアログの [OK] をクリックします。

10 [プリント] をクリックします。

困ったときには

CAPT プリンタドライバの使用中に生じたトラブルへの対処方法について説明しています。

困ったときには

プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処法について説明します。

印刷できない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh が正しく接続されているかを確認してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

［プリンタ設定ユーティリティ］／［プリントとファクス］にプリンタ名が表示されない

原因 1 プリンタと Macintosh が正しく接続されていない。

処　置 プリンタと Macintosh が正しく接続されているかを確認してください。

原因 2 プリンタの電源がオンになっていない。

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置 プリンタドライバを再度インストールしてください。(➞ プリンタドライバをインストールする：P.2-4)

印刷すると、「手差し給紙口に用紙がセットされています」というメッセージが表示され、手差し給紙口から印刷できない（LBP5100 のみ）

原　因 ［給紙］パネルの［給紙部］を［自動］に設定していると、給紙カセットを優先するため、手差し給紙口から印刷できない。

処　置 ステータスモニタの［再開］をクリックすると、手差し給紙口から印刷します。

いつまでたっても出力されない

原　因　カラー写真のようにファイルサイズが大きいデータが原稿に貼り付けられており、印刷に時間がかかっている。

処　置　印刷可ランプがついているときは、しばらくお待ちください。

印刷結果の端が欠けてしまう

原因 1　アプリケーションソフトウェア上の原稿のサイズと、プリンタに出力する用紙のサイズ（出力サイズ）が異なっている。

処　置　［ページ属性］パネルの［拡大縮小］で、縮小方向に倍率を設定してください。

原因 2　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が本プリンタの有効印字領域外に設定されているデータをプリントした。

処　置　プリンタの有効印字領域は用紙周囲から上下左右 5mm（封筒は 10mm）を除いた領域です。データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってください。

メモ　封筒をお使いの場合、右の余白は 7.6mm となります。

付録

参考となる情報について説明しています。

NetSpot Device Installer について

NetSpot Device Installer は、ネットワークに接続されているプリンタの IP アドレス設定やプロトコル設定を行うためのユーティリティソフトウェアです。

ここでは、NetSpot Device Installer の起動方法までを説明します。IP アドレスやプロトコルを設定する操作については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

重要　付属の CD-ROM によっては、NetSpot Device Installer が同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に、NetSpot Device Installer が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。

1 コンピュータとプリンタがネットワーク経由で接続されていることを確認します。

2 プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

3 付属の CD-ROM「LBPXXXX User Software」を CD-ROM ドライブにセットします（XXXX は機種名）。

NetSpot Device Installer をキヤノンホームページからダウンロードした場合は、デスクトップ上の「NetSpot_Device_Installer」アイコンをダブルクリックして手順 6 に進みます。

4 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[NetSpot_Device_Installer] → [MacOSX] フォルダを開きます。

5 [NetSpot_Device_Installer.dmg] アイコンをダブルクリックします。

6 ［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

7 NetSpot Device Installer のReadme を参照して、IPアドレスやプロトコルの設定を行います。

NetSpot Device Installer の Readme は、手順 6 の［NetSpot Device Installer］アイコンと同じフォルダに収められている［Readme_Japanese.html］です。

FTP クライアントによるプリンタの設定／管理

FTP クライアントを使用して、プリンタを設定／管理する方法を説明します。

FTP クライアントでは、ネットワークボードの FTP サーバにアクセスし、デバイスに関するさまざまな情報の設定、ネットワークやセキュリティに関する設定ができます。

1 ターミナルを起動します。

お使いのハードディスク → ［アプリケーション］ → ［ユーティリティ］フォルダにある［ターミナル］アイコンをダブルクリックします。

2 次のコマンドを入力し、キーボードの［return］キーを押します。

ftp <プリンタの IP アドレス>

入力例：ftp 192.168.0.215

3 ユーザ名として、「root」を入力し、キーボードの［return］キーを押します。

● **プリンタにパスワードを設定しているとき**

❑「Password:」と表示されますので、パスワードを入力して、キーボードの［return］キーを押します。

● **プリンタにパスワードを設定していないとき**

❑ 次の手順に進みます。

メモ　ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。

4 次のコマンドを入力し、キーボードの［return］キーを押します。

get config <ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

メモ　config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

5 「テキストエディット」などでダウンロードしたconfigファイルを編集します。

各項目の説明については、プリンタに付属のネットワークガイド * の「第 5 章　付録」の「ネットワーク設定項目一覧」を参照してください。

* LBP5050N の場合、ユーザーズガイドの「パソコンからの管理／設定」-「FTP クライアントでの設定」-「FTP クライアントでできるネットワーク設定項目」を参照してください。

メモ

プリンタドライバのインストールをしたあとに IPアドレスを変更した場合や IPアドレスの取得方法を変更した場合は、プリンタをプリンタリストに登録しなおす必要がある場合があります。登録しなおす方法は、「プリンタをプリンタリストに登録する」（→P.2-13）を参照してください。

6 次のコマンドを入力し、キーボードの［return］キーを押します。

put <ファイル名> CONFIG

メモ

<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

7 次のコマンドを入力して、キーボードの［return］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ

プリンタを再起動（電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってからオンにする）しても設定が有効になります。

8 「quit」を入力して、キーボードの［return］キーを押します。

9 「exit」を入力して、キーボードの［return］キーを押します。

10 ［ターミナル］メニューから［ターミナルを終了］を選択します。

索引

た

な

は

ま

や

ら

わ

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-1565 (08)